

京都府乙訓郡上植野村総代日誌（二）

安 國 陽 子
玉 城 玲 子

本稿は、京都府向日市内の旧大字の一つである上植野^{ウキノ}地区で作成され伝来した上植野区有文書の「日誌」のうち、一八八六年（明治一九）一〇月一六日から一八八九年（明治二二）一二月末までを「上植野村総代日誌」として翻刻するものである。

『社会科学』第五一巻第四号に掲載の（一）に引き続き、今回の（二）は、明治二〇年四月一日から明治二一年三月三十一日までの翻刻である。資料の概要および翻刻の経緯については、前号に掲載の解題を参照していただきたい。

凡 例

一、表記は原則として次のように統一した。

- (1) 原文に適宜読点、並列点を付した。
- (2) 使用字体は常用漢字とし、異体字・俗字・略字や明白な誤字などはそれぞれの正字に改めた。ただし地名や人名に關するものはそのままにしたものもある。

(3) 変体仮名や合字は現行の字体に改めた。

(4) 判読不能の文字は、字数の明らかかなものは字数分を□で示し、字数の不明のものは「」で示した。

(5) 抹消部分は省略し、訂正がある箇所は訂正後の文字のみを記した。

(6) 原本で日付の左脇に入っている頭注的な記載は、（欄外）とし「」中に記載した。

一、内容や形態を理解するため、次のように適宜注記を付した。

(1) 誤字・脱字・宛字などについて、適宜（ ）で傍注した。ただし同じ誤字・宛字が繰り返される場合は、傍注は初出のみにとどめた。

(2) 意味が通じにくいが原本のままとしたものは（ママ）、原本の文字に疑問がある場合は（カ）、衍字と思われる場合

には(衍)と傍注した。

(3)本文以外の箇所や挿入された部分は「」でくくり、(表紙)、(挿入)などと傍注した。

(4)人名・寺社名や地名などは、同一のものに幾通りかの表記がみられるが(植田と上田、法華寺と法花寺、物集女と物集など)、そのままとし、傍注は付していない。

一、今回の分の翻刻にかかわった氏名は以下の通りである。なお、翻刻文の校正には辻真澄氏の協力を得た。

梅本香織 木本陽子 重岡伸泰 高久嶺之介 玉城玲子
辻真澄 西村卓 長谷川澄夫 松島裕美子 向井直子
安國陽子 山崎達雄 若崎敦朗 (五十音順)

(明治二〇年)

四月一日 午前七時頃ヨリ兩人出勤ス、字南小路道換ノ願ヲ戸長役場へ差出スコト、午後小林宗助より村方へ田地買受ケ付、役場ヲ経テ郡役所へ出頭候処、時限ノ過キ候テ帰村スルコト

四月二日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤候テ、郡役所へ森山宗五郎引連登記願ニ出頭候処、村中ノ金子ナレハ村中ノ委任状ヲなしニテハ登記不出来、依テ小野利君へ相談致シ候処、買求メ田地ハ登記なしニテ地券裏書願出ル様ニ申され候付、裏書願ヲスルコト、森山宗五郎へ貸金ハ貸主惣代ノ内ニテスルコトニ極メ帰宅ス

四月三日 日曜・祭日 午後一時頃ヨリ向日町向神社々務所へ神宮ノ祝義ニ神風講社世話係リ四人、和田・永井・永井・小嶋行コト

同四日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、森山宗五郎山下ノ田地京行売渡シニ付登記願色々認メルコト

五日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、小林宗助田地買求メ、森山宗五郎へ貸付金ト向日登記所へ出頭ス、午後四時頃ニ帰村

スルコト、同日死亡者埋葬認許書ヲ向日町分署へ送附押印ノ上、戸長役場へ差出シ済之コト

六日 午前八時ヨリ永井出勤ス、秋田熊三郎姉たみ、下京区拾五組林下町第三拾八番戸へ西川恒二郎方へ妻ニ縁付スルコト申出ニ依リ、送籍願書ヲ認メ渡スコト、村寺方僧ノ籍届ケヲ差出スコト

七日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤候処、營業者へ出頭スル様達シ有、道付替ニ付郡役所吏員・戸長道同ニテ見分有、營業・諸車・地方税切符十四日よせニテ送附ニ相成候也、又事務所ヨリ各組長へ送附ス、神風講社大麻拜当之請書ヲ世話方印形ヲ押スコト、清水市郎兵衛長女まさ、下京区第六組稲荷町清水常二郎方四月七日ヨリ向百日間出稼キ願ヲ認メ渡スコト
野口常二郎大田ヲ売度旨ヲ申出、三十円ニテ、森好松ヨリ田ヲ売度旨ヲ申出、貳百円ヲ以テ売渡スヲ申出候也

八日 午前八時頃ニ惣代兩名、森山宗五郎田地売払ヒ登記願ヲ出スコト、同日森山乙八死亡ノ後、森山竹松表札書

九日 午前八時頃ヨリ惣代兩名^(出脱カ)出勤候テ、教育費切符送附ニ相成

候也、宮惣代藤田重郎兵衛祠官宅へ集会ニ行コト

十日 日曜 小嶋政二郎戸長役場へ出頭ス、道路除掃棒杭立ルコト、道修之コト、道上へどろみ上ルコト、無用種痘札いらぬコト、よな捨場一丈以上堀ルコト、学校生徒ニ洋服ヲ着スルコト、エンシヌ^(傍書)一演習」ニ付夜具七十・マク四張・屏風式双出スコトニ相成

十一日 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤候処、和田伊兵衛合地願書ヲ製シ候也、村井孫右衛門ヨリ円明寺牛車ヲ売渡ス
同日午後八座老ヲ集会ス、年頭^(年)ハ廿四日ニ決定ス、当家人へハ一老ヨリ申付、村中一統へハ惣代ヨリ達スコト、八座一老ヨリ村中へ御旅所ノ守スルニ飯米ヲ付ルコトヲ御双談^(相)之コト、長柄ノ調子ヲ村ヨリ買求メ暮様申置候コト

同日午後八時頃ヨリ組長集会シ、道路上へどろみ上ルコト、種痘札いらぬコト、年度四月廿四日ノコト、神事ニ馬ヲ買コト、生徒ニ洋服キセルコト、右五件ハ村中へ触ながす事、よなすて場ハ元ノ場所ニテ堀コト、御旅守リノ飯米ハ米式斗ヲ給スルコトニ惣代ヨリ座頭ノ人ニ達スコト

十二日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、杉田トヨノ養嗣子離

縁復籍願ヲ認メルコト、同日ヨリ中外電報新聞ヲ取始メスルコト、中小路久右衛門相統届ケスルコト

十三日 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、田租切符送附ニ相成、小前へ組長へ送附スルコト、田租取立日ハ四月十六日も

十四日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、戸長役場より小野利君地方税取纏メニ出張ニ相成候也、本月十七日ニ再種之分へ達シス、午後ヨリ戸長役場へ永井行、よなすて場ヲ元場所へ堀コトニ極リタリ

十五日 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤候処、杉田とよ養嗣離縁追願ヲ認メ出スコト、同日午後七時頃ヨリ神輿金世話方集会候処、民秋・小の両君不参ニ付、同十一時ニ退席ス

十六日 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、神輿金係リ民秋・小野・小嶋三名、都(合脱カ)五名集会候処、森好松ニ係ル貸金ハ十二月ヨリ子ハ元金ノ内へ組込候処、改貸附スルコトニ決定ス、字切ノ口第式十番地下作植田重左衛門へ宛米三石五升ニテ下作スルコトニ極メ、受人ハ山口九右衛門へ

同日森好松へ貸付金之証文ヲ改メルコト

十七日 日曜 午後二時頃ニ藤田浅七弟治三郎徴兵異動届ケ之下書ヲ戸長役場ヨリ送附ニ相成、惣代兩名出勤ニテ届ケ書三通宛ヲ四通認メ藤田浅七へ渡ス、五時頃ニ相成候也

十八日 午前七時頃ヨリ永井、森好松へ貸金ニテ戸長役場へ出頭ス、向日登記所へ願出候テ午後二時頃ニ帰村ス、小嶋平常之通出勤ス、森源之助ノ田地ヲ中小路長左衛門より村方へ買取被下候ト申来リ、依テ小野利右衛門氏役場へ出勤先へ手紙ヲ以テ御尋候也

十九日 午前八時頃ヨリ出務、向神社祠官ヨリ諸般御相談申度儀有之候ニ付、氏子総代へ依頼之廻章ヲ送ルコト、即時其ノ由ヲ写シ藤田氏・清水氏ニ送ル、午后三時退席之コト

廿日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、井ノ上勘右衛門・小路熊五郎二人ハ神事馬件ニ付出勤ス、乗手人ハ十二人ニ相極リ候テ乗賃ハ一人ニ付廿五錢宛ノ処、少シ村惣代ノ心ヲ以テ乗手酒代トシテ少シ減スルコトニ咄シスルコト、午後小嶋君ハ戸長役場へ出頭ス、小嶋久兵衛氏下女出入ノ届ケ、持泉庵ノ住職申付ノ写ヲ共ニ差出スコト、野口常二郎・秋田富吉ノ二人ノ国民軍異動届ケヲ控へ写シテ長役場廻送スルコト、宮惣代清水市

右衛門、本日ハ向神社祠官宅へ集会ニ御足勞ニ相成候也

廿四日 歳当^(ネンシ)ニテ休日、村中共

廿一日 午前八時頃ヨリ惣代兩名・清水君共西京へ神事馬買
ニ、祇園借馬滝野ニテ馬三疋買コト、一飛・白雲・雷、三人乗
ハ疋疋ニ付三円弍十五錢、四人乗ハ疋頭ニ付三円七拾五錢割合
ヲ以テ払フコト、小林庄左衛門地方税未納ニ付、附立ニ郡役
所・戸長役場ヨリ出張之コト

廿五日 午前八時ヨリ惣代兩人共出勤ス、午前ハ馬番座ヨリ神
事ノ件ヲ尋ニ参リ候、本日ハ御旅掃除ニ付、清水・藤田兩人出
勤ス、午後ヨリ物集女村宮惣代ノ出勤ス、午後小嶋君休日之コ
ト、同日晩ヨリ伍長衆へ例年ノ筍飯ニテまねくコト、植田清二
郎ノ普請届書ヲ認メルコト、鎌田与藏ノ受籍願ヲ認メルコト

廿二日 午前八時ヨリ出勤ス、神輿金^(カネ)子寄せヲスルコト、午
後ヨリ世話方立会之上勘定スルコト、經費ハ疋円五錢也

廿六日 清天^(シメ) 午前八時ヨリ惣代兩名出勤、森山宗五良請書認
メ、線路新道修繕願差出シ、橘岩次良ノ相続讓リ願書ヲ認メ、
次ニ中小路久右衛門死跡相続願書ヲ認メ置、次又橘金之助之姉

同日午後ヨリ小嶋戸長役場へ行、道替願書写取帰村ス、徴兵ニ
帰村節之渡シ金ヲ国民軍ヨリ出スコト、凡一人二十五錢出シヲ
スルコト、六人部へ元弍組内ヨリ弍百円ヤルコト、道路ホゴ規
約ヲ結ブコト、戸長ヨリ口達

り多・木ノ山武兵衛連印ニテ願書認メ、植田清次郎普新届村方
へ差出ニ相成コト

^(付箋)
「六人部件」

廿七日 向神社御出祭之コト

廿三日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、道附替願・漬地一筆
帳ヲ認メ印形ヲ取、戸長役場へ出スコト、^(馬)騾馬届ケ書ヲ向日町
分署へ出ス、八座一老へ御旅守ニ此迄馬座へ渡シ方ノ内ニテ米
式斗丈ハ旅守ノ給ニスルコトニ相成申渡スコト

廿八日 午前八時ヨリ出勤ス、鉄道東口踏地^(切)ノ新道上田嘉右衛
門土ヲ置ニ付、鉄道係リヨリ惣代ト土主トニ踏切へ出頭スルコ
ト申来リ候処、式人共出頭シ巡会ノ井ノ上氏ニ指令ニ相成、依
テ其場所へ土ヲ捨ルコトニ相成候也

同日戸長役場ヨリ名寄帳読合せニ小の五郎右衛門出張スルコ

ト、初・再種残り分明後三十日出頭スル様申越シ候也

廿九日 午前八時頃ヨリ小嶋出勤ス、永井休

午後田畑起返リノ分追徴之切符ヲ小の五より送附ニ相成候也、

永井受取ル

三十日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、道路保護規約二連名
ヲ書クコト、起返リ田畑追徴切符小前へ送附スルコト、村井孫
右衛門牛車ヲ売ニ付願書認メ渡ス

五月一日 氏神々事

二日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、宮惣代清水共三名、神
事白丁タトシスルコト、午後休日

三日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、宮惣代兩人向日町津ノ
平宅へ郷中神事勘定ニ出勤ス、午後八時頃ヨリ各組長道路保護
之コトニ付集会之コト、同夕馬乗人勘定ニ参ルコト

四日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、宮惣代兩人ヨリ前日郷
中勘定ノコトヲ承ルコト、神事諸費払方ヲスルコト

五日 休日 同日中小路久蔵ニ地券裏書ニ付、村金抵当ニ差入
タル地券貸与ルコト

六日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、神事人足賃ヲ払ヒ方
ス、種痘初種ヨリ再・三種ヲ集メルコトヲ役場ヨリ照会ニ相
成、小前へ口達スルコト、永井五兵衛段之町田之水ノコトヲ依
頼ニ参リ候也

七日 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、客組長ヨリ規約小前連
印書ヲ持参ノコト、和田伊ヨリ名寄帳写取ヲ頼ニ参ルコト、役
場布告四袋向日町始メ巡達ノコト、森源之助ヨリ中小路長左衛
門ヲ以テ田地社倉金ニテ買取被下様依頼参ルコト

同日午後清水市郎兵衛、宅地西ノ方ニ有之道ヲ元実地ハ拙者之
持地ノ処、森山宗兵衛通ヒ道ニ有之、元道巾式尺之処、改正際
巾五分ニ相成様申居コトヲ申出、依テ元持地ナレハ尤ノコトモ
有之ニ付、森山宗兵衛ヲ呼出シテ咄シラスルコトニ申置キ候也
同日永井五兵衛字段之町田地水ノコトニ付、清水市右衛門より
依頼ニ参リ、村方へ何程ニテモ村方ニ意ニ応シテ積立ヲ致シ候
テモ番水哉、又は入方チ(勝)ノ間ニテモ水ヲ入ルコトヲ御依頼スル
ト申居候ニ付、一応大地価持ニ相談スルコト

八日 日曜 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、地券裏書下ケ渡シニ付、台帳式通、図帳・名寄帳共四通ヲ附替スルコト
同日午後八時頃ヨリ社倉金世話方ヲ集会候処、不参ニ付十一時頃ニ帰宅ス

九日 午前惣代兩名出勤ス、社倉金世話方集会シ民秋・小の小嶋久兵衛三名出勤シ、森源右衛門田地券字上川原・馬立・定使田三枚ノ田ヲ元金貳百円ト子八円ト外金五円ヲ以テ返事スルコトニ決テシ

同日永井五兵衛段之町田ヲ是迄用水係リニ無之候処、今般村方へ依頼ニヨリ、地価金ハ平均地価ニテ根地価金ト違ヒ地価ヲ以テ年々積立ノ出来ル様ノ約束ニテ咄シスルコトニ決テス、地価違ヒ金五円五拾三錢七厘

十日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、茶業者之反別・焙爐數・等級等ヲ取調、古鑑札ヲ取上ルコト、永井五兵衛田件、替取書ヲ認メ取渡シスルコト、上田嘉左衛門こま縁付ニ付送籍願ヲ認メ渡スコト

同日戸長役場ヨリ小学校教育費切符送付ニ相成、戸前へ送付スルコト

十一日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤候処、茶業者之調へニ付之コト、向日町外五ヶ村聯合町村会開会之コト村会議へ達シ有之候、依テ村会議員衆へ達シ置キ候也、清水寅吉へスワ離縁ニ付受籍願ヲ認メルコト
神事費村中老戸ニ付七錢出シヲ各組々長へ口達ニテ致置也、よせ八十四日頃ニ候也

十二日 午前第八時ヨリ惣代兩名出勤ス、午後ヨリ永井戸長役場へ向日町外五ヶ村聯合会ニ行、道路保護規約代料ヲ払フコト

十三日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、森源之助ヨリ村方へ買取ルコト証文ヲ認メルコト、写物スルコト

十四日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、営業者ノ出鑑札ヲ願書ヲ書コト、写物スルコト、森源之助ヨリ証文ニ印形ヲスルコト、同日午後小野君・民秋君共相談スル処、民秋君ニハ外用事無之二付不参ナリ

十五日 日曜 明十六日裁縫之義ニ付惣代出頭スル様達シ有

十六日 午前八時頃惣代兩名出勤候処、午後ヨリ戸長役場へ出

勤ス、抱衣捨場成功之上、安井与左衛門手間金壹円渡スコト、裁縫所発^(廢)スコト、六人部講ノコト、所得税之コト、小畑川洪水之節二尺杭ヲ建ルコト

十七日 午前八時頃ヨリ惣名^(マ)出勤ス、午前小嶋、森源之助田地買求メニ付戸長役場・郡役所へ出頭スルコト、の口常二郎へ向日町分署ヨリ地券裏書願出延引ニ付尋之コトヲ召状来リ、午後ヨ組々^(リ)道路規約書連印ヲ調ヘルコト

十八日 晴天 午前八時頃ヨリ兩人出勤ス、戸長出張ニ相成、村惣代・五長^(伍)外組二人ツ、咄^(呼)よせ戸長御咄シ、小学校教育之コト、生徒衣服之コト、裁縫場発シ、所得税之コト、へき病院^(遊)ノコト、越^(起)返り地ノ地方税ノ切符送附二成、地租賃与金返納コト申越シ候コト

道路保護規則連印之上、戸長手元へ差出スコト

十九日 晴天 午前八時ヨリ惣代兩名出勤ス、神事費寄金ヲ調へ、午後岩見上里村へ持参ノコト、惣代井出取場へ見二行コト、永井五兵衛上川原西へ溝付ルコトヲ見二行

廿日 午前雨天、午後晴 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、午

後ヨリ郡役所中野君・戸長役場小野氏、地方税未納者へ附立ニ御出張ニ相成候也、種痘明日午後出張ノコトヲ申越シ、小前へ口達スルコト

廿一日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩人出勤ス、午後種痘医出張ニ相成、施行スルコト、同五時ニ退役ス、かいで村ヨリ標的ヲ返シニクルコト

廿二日 晴天 午前八時ヨリ惣代兩名出勤ス、鉄道端起返り丈量ニ付、小嶋久兵衛、雇入人足民秋・和田兩人半日也、午後惣代兩人・小嶋久兵衛算盤スルコト

廿三日 雨天、雷なる 午前七時ヨリ小嶋兩名出勤ス、荒地免租年期明地丈量図ヲ引ク事

廿四日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名・小嶋久兵衛共出勤、昨日ノノコリ図ヲ引ク、永井・小野氏、并前田ノ道附替願訂^(ス脱カ)正ルコト、午后三時頃茶業賃錢下落致候ニ付賃錢改正表生島ノ使持参之コト、同六時退席之事

廿五日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、清水市右衛

門、午後ヨリ民秋若二郎出勤之コト、起返り願書ニ掛ルコト

廿六日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩人出勤ス、起返り願書ヲ出来ス、小前印形ヲ取ルコト

廿七日 晴天、午後四時四十五分ヨリ雨天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、右起返り上伸書ヲ戸長役場へ持参之コト、野口常二郎畑地券書換ニ付役場差出スコト、種痘医出張之コト

二十八日 雨天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤候テ、各組長衆川堀一件協議候処、六月一日午前川堀之コト、午後ヨリ翌二日中ニ溝堀スルコトニ決テス、五月雇手間賃之定メハ昨年并^並ニ据置とスルコト、茶業者へ鑑札ヲ渡スコト

同日午後六時頃ニ小野利右衛門殿帰り掛ケ村会議員撰挙用紙ヲ持参被下候テ、組長・村会議員呼よせ、勤続議員中小路弥三兵衛・藤田重郎兵衛・植田嘉右衛門三名也、後村会議員撰挙ハ六月一日迄ニ各組ヨリ事務所へ差出ノコト

同日郡中聯合会和田行候処、衛生会ニテヘキ病院ノコトニ付、昨年有志金ヲ三井銀行へ郡長ノ名前ニテ預ケルコトニ決定スルコトヲ申被参候也

廿九日 日曜 雨天 午後ヨリ惣代兩名出勤ス、地押費・事務所修繕費共取纏メ切符認メルコト、築山三郎兵衛ふじ退学届ケヲ、上田忠右衛門こと休学届、上田清二郎たね・小の勘七ミト小学休校届ケヲ認メ渡ス

三十日 晴天 午前八時ヨリ惣代兩名出勤ス、道替願直スコト、野口常二郎畑地券書換願ヲ認メ渡ス、神事費勘定帳ヲ認メルコト

三十一日 雨天 午前七時頃ニ永井出勤ス、植田林右衛門たき・中小路長左衛門とも・植田忠右衛門つね・小野捨吉ノ妹くま、右四名向陽裁縫場退学願ヲ認メ渡ス事、午前八時ヨリ小嶋出勤候也、高橋久吉家出致シ居候ニ付、親族藤田吉郎右衛門・築山半兵衛・小の捨吉三名喚寄セテ咄シ致候処、親族ヨリ留主中八家守スル様申居リ候也

六月一日 雲り有 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤候テ、賃銭定書ヲスルコト、林田六右衛門より上川原村田ヲ水番割ニ入テ書様申来リ候也、ろ組和田清右衛門ヨリ水番ノ割ニ入テ書様申来リ候也、午後八滝之下溝堀之コト、は組・い組・へ組・ろ組・ほ組・に組口達致シ候也

同日午後四時頃ニ起返リ検査ニ付、京都府国税掛リヨリ官吏式人、戸長役場長谷川与五郎氏等出張ニ相成、人足小嶋久兵衛・清水市右衛門・上田嘉右衛門三名、午後四時頃ヨリ同七時迄勤メニ相成候也

二日 午前晴天 「同日鳥好ヨリ弁当トリ中飯之事」
(挿入)

七時頃ヨリ惣代兩名、清水・小嶋久・民秋共出勤スルコト、起返リノ検査件ニ付、午後願書ヲ直シテ森本村事務所へ持参スルコト、午後六時三十分ニ帰村ス

同日午後七時頃ニ教育費切符役場ヨリ送附相成候也

三日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、永井戸長役場へ出頭ス、村会議員一回之改撰期ニ付投票持参ス、開封候処、清水市右衛門・小嶋久兵衛・永井九郎左衛門右三名高点ニテ、戸長長谷川三郎兵衛殿手元へ差出置候也

同日番水割書出来候也

四日 雲リ天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、森山宗五郎他所寄掛ケ村山林買求メニ付、証文并ニ登記願書迄認メ渡ス、水番ノ割ヲ製ス、午後小嶋老人出勤ス

五日 午前雨、午後半天 「日曜」
(欄外)

午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、外地働之内民秋・和田・小嶋久・清水・林田、計七人ニテ村中規約書ヲ相談ス、中飯ハ鳥好ニテ下等弁当ハツヲ取ル

六日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤、村中規約書并ニ村会議員受諾書ヲ認むる事、午後永井休日、式ツ井戸番水ノ割ヲ認メ、第五時三拾分退席之事

七日 晴天 午前第七時出勤、小嶋、野口治三郎徴兵異動届ケ

認メ、九時頃前田善吾氏戸籍簿ヲ写ニ参ル、午后三時黒田卯之助徴兵事件ニ付役場より書面参リ、其由ヲ該人へ口達ノ上、戸長役場出頭致様申コト、四時頃証券印税ニ関スル諸帳簿定期試験来ル九日ニ付、営業人諸帳簿取纏メ差出シ之手はこび之事

八日 晴天 午前第七時頃ヨリ惣代兩名出勤、通并ニ判取帳(マ)長戸役ニ差出シ之コト、八時頃戸長役場ヨリ小野利右衛門氏教育費領収トシテ出張之事、同五時三拾分退席ス

同日七時頃戸長役場より即時出頭可致様照会ニ付小嶋出頭、判取帳并ニ通訂正之事、其レヨリ事務所へ帰り永井氏ト相談之上、中小路弥三平判取帳訂正シ、又鎌田与藏ノ判取帳訂正之

事、時午后拾時也

九日 雨降 午前八時頃ヨリ小嶋出勤ス、午後乙訓郡聯合町村
廿年度通常会議費及之二係ル支弁方法并十九年度通常会評定
書、戸長役場ヨリ残り種痘人へ達シ有、当部内ニ於テ天然痘患
者之事ヲ達シ有

十日 晴天 午前八時頃ヨリ小嶋出勤ス、戸長役場へ印紙帳簿
ヲ取ニ參ルコト、夫ヨリ村内へ帳簿ヲ發達スルコト

十一日 晴天 午前ヨリ小嶋出勤ス、午後井戸水引二人足十四
人、惣代兩人共出勤スルコト、同日南小路道附替願郡可ニ相成
候

十二日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、南小路道附換
ノ願訂正スルコト、長谷川繁二郎長男幸三郎小学退校届ケヲ認
メルコト

十三日 晴天 午前八時ヨリ惣代、地価之内秋田駒吉・清水市
右衛門・堀池半右衛門・上田九郎兵衛・中小路弥三兵衛・小の
喜四郎・上田嘉右衛門・小の幸太郎出勤ニテ、二度目ノ井出掛

ヲスルコト、午后休日

十四日 晴天、午后雨天

十五日 晴天、午后雨天 兩名休日之事

十六日 午前晴、午後六時頃ヨリ白雨降ルコト

小嶋出勤、永井当病ニテ休

十七日 午前四時頃ヨリ晴ル、雲(ア)エリ 午后出勤、小野利右衛
門・前田郁太郎道換願ヲ訂正之事、五時頃ニ小野利右衛門戸長
役場ヨリ帰りガケニ教育費未納者名簿并ニ種痘人名簿ヲ持參之
事、拾錢紙幣六月卅日限通用不致事口達之事

十八日 晴天 七時頃ヨリ総代兩名出勤、森永之移転届戸長
役(場脱)へ差出シ之事、教育費未納者へ速く上納可致様口達致シ、其
レヨリ高橋久吉神事費ヲ藤田亀次郎ヨリ支出之事、地押費未納
者取立ノ促ス事

十九日 晴天 午前(マ)第時頃小島出頭、戸長役場ヨリ米作改良方
法説示ノ為、来ル二十日本府ヨ出(脱)張ニ相成候ニ付、村内農事熱

心者午前十時頃二郡二出頭可致様達ニ付、和田氏・植田嘉右衛門兩人頼む事

同時戸長役場ヨリ字野添式拾八番・同所三拾番地官号不詳ニ付取調ヲ依頼ニ付、裂地開墾願中ニ付官号無之ト申ス事

二十日 午前八時頃ヨリ降雨 午前八時頃ヨリ惣代兩名京都府

收税課第一区検査員局ヨリ御呼出シニ相成、兩人出勤ス

同日米作改良説示ニ付、和田伊兵衛・上田嘉右衛門兩人郡役所迄御苦勞ニ相成候也

二十一日 晴天 午前第七時惣代兩名出勤、水番割書揭示并二ツ井戸番水ノ割控ヲ書シ、午后休日之事

二十二日 晴天 午前第七時惣代兩名出勤、午后二時頃永井兵衛之藪之事ニ付鎌田弁藏氏出来之事、午后七時三拾分退席之事、時ニ役場ヨリ社倉金之儀ニ付出頭可致様申越ニ相成候事

二十三日 雨天 午前第七時頃ヨリ兩人出頭、永井氏社倉金之儀付役場へ出頭之事、小嶋開墾歛下年期明ノ諸費取纏メ根帳并ニ切附(符)ヲ書キ配附、廿五日ヲ以テ取纏メ之事、午后二時永井帰着、和田伊兵衛ノ十八年起返田租異算ニテ未納之分、勘定書ヲ

返附ニ相成、社倉金借入金ノ借附様并ニ抵当之有無、又ハ取締へ向テ返金シタル年賦金あるは其返金等及ビ其年月日ヲ記セ、但シ領收書ノ有無、戸長役・村惣代等ニ於テ年賦金返金ヲ受取置外ニ保官(符)シ有ル者ハ其金則及保官方法、村内ニ於テ右借金目下景況及軫満(額)ノ目的立アルヤ其取立ノ方法、適宜ノ方法及順席等ノ見込、即今返金命セラル、モ心分難キ向アラハ其事由、右ハ廿五日中ニ取調、役場へ差出ベク様ノ事也、其レニ付午后四時頃ヨリ社倉金世話方御苦勞ニ相成相談之事、地券六拾式通ヲ役場ヨリ受取事

二十四日 晴天 午前第七時頃ヨリ惣代兩名出勤、前半期村費取纏メ根帳ヲ製シ、午后二時頃ヨリ永井氏役場へ聯合会ニ出席、小島營業係リノ根帳ヲ製ス、四時頃永井氏役場ヨリ帰り、電信杭敷料ヲ預リ帰ル事
同日召喚状十六封預リ帰宅ス、直チニ小前へ送附スルコト

二十五日 雨天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤、電信杭敷地料ヲ本人ニ渡シ受取書三通宛ヲ製スル事、其レヨリ村費徴収之寄附(符)ヲ書シ、其レヨリ煙草作付願ヲ調止(符)之事、同日開墾歛下期明付、諸入費ヲ徴収之事

廿六日 雲リ在 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤、前半期村費取纏メ切符ヲ認メ組長ヘ廻スコト、京都府検査官出張ニ相成、開墾地据置之願書直シテ戸長役場ヘ認メ印ヲ小嶋願ニ行コト、他所切符モ認メテ治三郎ヘ渡スコト、煙草調ニモ係リ居ルコト

廿七日 晴天 午前第七時頃ヨリ惣代兩名出勤、村費取纏メ切符ヲ他ヘ送附之事、午后麦寄セ帳ヲ書く事、同七時退席、同午后起返リノ勘定之上、日当其々ヘ渡ス事

二十八日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名并組長出勤ス、本年一月ヨリ六月中ノ村費よせスルコト、午後五時頃ニ学校休業之コトヲ申越シニ相成、直チニ組長衆ヘ口達スルコト、徴兵^適年齢^{ママ}之者明日午前九時迄ニ実印^{ママ}帶携シテ出頭スルコト口達ス、聯合會議員投票之用紙ヲ送附ニ相成候也

二十九日 晴天 午前八時惣代小嶋出勤、永井休日

三十日 晴天 午前八時頃ヨリ小嶋出勤ス、永井休、小嶋戸長役場ヘ聯合會議員投票持参スルコト、木村辰之助ヨリ筆ヲ持帰ルコト、午後四時頃ヨリ永井モ出勤ス、地価持上六人ヲ御苦勞ニ相成積リ之処、小野・民秋・和田之三人ハ不参之コト、林

田・湯川・永井三人出勤ニ相成、六人部より依頼件ヲ御咄シスルコト

七月一日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、他所ヨリ村費取纏メスルコト

七月二日 晴天 午前第八時ヨリ総代兩名出勤、他所ヨリ纏メ之金ヲ調べ未納者ノ促ス事、午后休席候也

七月三日 晴天 午前第八時ヨリ総代兩人出勤、前半季ノ諸払并ニ勘定ヲ致シ、有金四拾貳円三拾六錢永井九郎左衛門氏ヘ預け之事、^{モツ}颯之勘定ヲ致シ、明四日ヲ以受取方トシテ出頭可致様口達之事、午后六時退席候也

七月四日 晴天 午前第八時ヨリ惣代兩人出勤、颯之錢ヲ渡ス事、午后小野利右衛門氏并ニ前田郁太良ノ道換願差戻シニ付訂正仕、調印之事、午后六時退席之事

小野利右衛門御出ニテ六人部有志ノ事ヲ相談ニ及ビシ処、利右衛門、拙者共六人部有志^應不復ト答、総代段々ト頼ミ之処、六人部有志トハ一文モ出ス事不復ト云フヲ兩名猶々頼ミ候処、何分^考帰リ好キ勸功ヲ致ストノ事也

七月五日 晴天 午前第八時ヨリ総代兩人出勤、小野利右衛門御出ニテ、作日^(昨)ノ咄シ如何様勘功ヲ致ストモ出ス事不復ト云フヲ、段々儀論^(議)致シ候処、小野壱円ノ金ハ只今ニテ出ストモ六人部ニ遣スコト不復ニテ、其金ニテ賤民ノ救助ヲ致セト云フヲ、総代其レニテハ后ニ互ニ復藏^(腹)有ニハ不好ニ付、是ノ有志ハ更ニ止メトシ名目ヲ替ユト云フ様ニテ、小野退席之コト、先日役場ヨリ預リノ地券ヲ以テ台帳・名寄帳訂正之コト、右之事ニ付先日御苦勞ニ相成シ民秋・林田・和田・永井治郎右衛門・湯川之五名、御苦勞ニ相成其ノ由ヲ咄シ仕、有志頼置ノ事一先廢メニ致ス事

七月六日 晴天 午前第八時ヨリ総代兩人出勤、買売地券并ニ番号訂正地券下げ渡シ相成、本人へ渡方計る事、午後六時五拾分退席之事

七日 晴天 午前七時ヨリ惣代兩名、地持人足永井五兵衛・和田伊兵衛・上田嘉左衛門ト三番井出掛ケラスルコト、午後ヨリ小嶋久兵衛御苦勞ニ相成、煙草作付ヲ取調書ヲ認メルコト、永井当病ニテ不勤ス

八日 晴天 午前八時頃ヨリ小嶋君、兩名出勤ス、同煙草調ヲ

スルコト、永井・清水ハ向日町外五村ノ尋常小学校ノ會議ニ出勤ス、乙訓聯合會議員撰挙ノ用紙ヲ持帰ルコト、野口治三郎・藤田梅之助ハ実印持參スルコトヲ口達スルコト

六人部有志ノ件ヲ戸長長谷川三郎兵衛殿へ御咄シスルコト、若哉外村ヨリ出金ノ節ハ何金ニテ申取換候テ出金スルコトノ言ヲ致シ置キ候也

尋常小学校ノ會議ハ二十年度ノ經費ヲ付スコト、何分是迄ノ勘定不相互ニ有之ニ付、十八日迄ニ勘定ヲスル様長谷川戸長ヨリ被申、依テ十八日ハ議員集会スルコトニ決テス

九日 晴天 午前八時ヨリ惣代兩名出勤ス、午後早々村會議員御苦勞ニ相成、乙訓郡聯合會議員撰挙ニテ投票ヲ入ルコト

十日 日曜日 休日 晴天

十一日 雲り有 午前八時ヨリ永井出勤ス、小嶋二ツ井戸水番直シテ、桂警察署開業ヲ見物スルコトニ付帰宅スルコト、村入費ヲ台帳へ写スコト、売買地券受取方ノコトヲ本月十五日限り出頭スル様二京都橋井常八ト加藤庄二郎ノ二名ニ端書ヲ以テ差遣スコト

十二日 雨天 午前第六時頃ヨリ惣代兩名出勤、村中川堀之事、同九時頃ヨリ永井乙訓全郡聯合會議員撰挙会参集之事

十三日 雨天 午前第八時頃ヨリ総代兩人出頭、営業門戸票牌ヲ纏メ戸長役場へ差出シ之事、午后村中雨喜之事、我等モ同休段之事^(暇)

十四日 雨天 午前第八時頃より惣代兩人出勤之事、戸長役場ヨリ国税切附送付ニ相成、組長へ分賦候事

十五日 雨天 午前第八時頃総代兩人出勤、小野利右衛門氏・前田郁太良道替願訂正之事、并ニ第二次徴兵検査ノ入費割ヲ本人へ口達致シ、小学校生徒半期分授業料ヲ前徴収之事ヲ先達之事、同午后四時頃畳仕替ニ付梅之木豊屋平造ニ引合之処、六円式拾銭ニテ四廢・拾四帖返シ・拾帖ヘリ共皆済可致様申ニ付、其二テ約定之事、同七時退席之事

十六日 雨天 午前七時頃ヨリ兩名出勤スル、国税切符戸長役場ヨリ送附ニ相成、村民へ送附スルコト、小学校へ就学スルコトヲ年齢之者父兄へ尋ルコト、就業料ヲ十九日ニよセルコトヲ申達ス、道替ノ願書ヲ直スコト

十七日 晴天 日曜也 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、右豊屋參ルコト、明治十八年荒地起返リノ田畑地券書換願ヲ直スコト

十八日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、道替願書ヲ戸長役場差出スコト、午後地券願ヲ差シ出スコト、永井・清水市右衛門学校会ニ行コト、旧勘定出来ズニ付、午後七時頃ニ帰村スルコト

十九日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、戸長役場ヨリ長谷川三郎兵衛・小の五郎右衛門兩人、授業料ヲ取集メ之出張ニ相成候也、午後七時頃ニ退場之コト

廿日 晴天 午前第八時^(街)八時ヨリ総代兩名出勤、永井九郎左衛門氏十八年返起地券書替願、字浄徳ヲ野添有之二付、字替ハ相成不候ニ付訂正致べく様申渡シ之事、并ニ戸長役場ヨリ地券七通ヲ預リ帰ル、午后六時五拾分退之事

廿一日 晴天 午前第八時惣代兩名出勤、預り地券ヲ本人へ渡ス事、午后村中共休ミ之事

廿二日 晴天 午前第七時惣代兩名出勤、戸長役場ヨリ小野利右衛門・小野五郎右衛門兩人、前半季戸長役場費并二国税領収ノ為出張之事

廿三日 晴天 午前第七時惣代兩名出勤、正午拾二時退務之事、三時頃二雨立ス

廿四日 晴天 午前第七時惣代兩名出勤ス、湯川岩次之盜難届(部脱カ)ケヲ認メ分署へ差出ス、則其ノ控諸願ニ在リ、午后退務之事(概脱カ)

廿五日 晴天 午前第七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、死跡ヲ書載ルコト、同日午後八時頃ニづぞ溝堀ノ人足之内中小路弥三兵衛・永井治左衛門・藤田甚平・安井直次郎・森山宗五郎・和田伊兵衛、右六人永井五兵衛田ニ係ル水口一件ニ付永井宅へ参リ、水口ヲ換ルコトヲ相成不哉ヲ尋ニ来ルコト

廿六日 晴天 (禰人)「水番始メルコト」

午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、午後ヨリ小野利右衛門・小の五郎右衛門兩名御苦勞ニ相成、村中規約書ノ下書ヲ認メルコト、永井五兵衛田地ニ付水口ノコトヲ咄シス(欄外)「一番水始ル」

廿七日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤候処、石塔寺・片山助二郎兩人参リ、上川原突井戸ノ水ヲ入サセクレヨ申来ルニ付、涌水ハ村方規則ヨリ家ニ付物ニ付、他所作人ニハ入サセ間敷ト言タリ、高等小学校入校ノ願ヲ差出スヘク様戸長役場ヨリ申越シニ相成、右願書ヲ認メルコト

廿八日 晴天 午前八時頃ヨリ永井出勤ス、藤田治郎吉・和田伊兵衛宅地境界ヲ御尋ニ相成、依テ改正ノ図帳ヲ以テ相分ケ候也、行商ノ標牌之願ヲ認メルコト

小西与八、おりう元籍之コトヲ森山宗兵衛ナリト云

廿九日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、国税・戸長役場費共未納者へ符券ヲ送附スルコト

三十日 晴天 午前第七時総代兩人出勤、林田亀次郎ノ所得届ケヲ認メ、小島・林田兩人所得届ヲ戸長役場へ差出ス事、午后休ム

三十一日 晴天 日曜 休日也

上川原突井戸ふたヲ取アルヲ、人足清七・富吉二人ヲ遣ヒふたかけヲスルコト、人足壱人代五錢ツ、其夕ヨリ五日間一夜十

錢ツ、ニテ番ヲサスコト

八月一日 午前第七時惣代兩人出勤、字東口踏切北方線路下ヲ土樋ニテ田地養水通行之処、及破損見分願ヲ差出ス事、小野半次良之妻男子死産ノ事、午后休

二日 晴天、少シ雲リ在 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、東口踏切ヨリ北ノ方野添へ養水通行ノ土樋、土砂流込ミヲ以テ養水通行相成難クヲ以テ、其件ヲ御願書ヲ午前九時頃ニ差出シ候処、午後六時頃ニ惣代ヲ呼ニ参リ早速行候処、わらわヲ繩ニテ詰リ通行サスニあたりナク通行スルニ付、先此修ニテ置也、召喚状ノ受取書ヲ戸長役場送附ス、野口常二郎妻ヲ受籍之コトヲ届ケス、森源之助出産届ケヲ訂正ノ上差出スコト、午後六時頃ニ野添之田地作人へ土樋ノ返事スルコト、午後永井出勤ス

三日 少シ雲リ在 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、小西与八ヨリ地券ヲ黒田卯之助へ譲リ度コトヲ依頼ニ参リ候也、午後野口宗右衛門より御輿金ヲ返済之コトヲ依頼参リ候得共、途中ニテ受取コトハ貸付ノ時ニ咄シ致シタルニヨリ、返金受取コトハ相不成ノ申置候也、午前野口常二郎妻ヲ送籍之送附ニ付戸長役場ヨリ申越シニ付、受籍願ヲ認め渡スコト

四日 雲リ在 午前七時頃ヨリ永井宅へ野口常二郎受籍ノ願直スコト、森山宗兵衛ヨリ小西与八へ養女ニ遣シ有おじゆヲ不縁ノコトヲ申越シ、又紀伊郡横大路へ送籍ニ預リ度旨ヲ申出候也、野口宗右衛門より旧神輿金ヲ返済致度ト申出、依テ右色々御咄シ致シ候テ、金係リ世話方（マ）へ談示被下度ト申居ニ付、世話方集会スルコト、右神輿金野口宗右衛門借り主代り出来ル迄証文之丈ケニテ貸置クコトニ決テス
同日 （マ）

五日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、森清七へ上川原夜番ノ賃并ニ突井戸直シ人足賃共五拾錢ヲ渡ス事、野畑伊之助ノ中小車修繕ヲ認メル事、事務所留主番給料内表式斗代四拾六錢渡スコト

同日午前五時頃日出前ニ番水崩レルコト、秋田富三郎より学校へ上伸書ヲ出ス、秋田駒吉弟三之助ハ京都へ出稼キニ参ルコトヲ惣代より上伸ス、小西与八地券公証無之コトヲ申来ルコト（欄外）
「一番水終、番水ハ九日之間也」

六日 雨天、午後五時頃ヨリ晴 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、野口常次郎中小車破損ニ付再検願ヲ書コト、野口宗右衛門旧神輿金之抵当入替スルコト

七日 日曜 休 雨天

八日 晴天 午前八時頃ヨリ小嶋出勤ス、永井休之コト

同日午後六時頃ニ永井宅へ戸長役場ヨリ、村内役場費未納者へ明日午前ニ出金スル様口達之コトヲ召喚状送付ニ相成候ニ付、本人へ口達スルコト

同日本年二月十五号告示山城物産会ヲ開設相成ニ付御示談致度ニ付、十五日午前八時ニ出頭之コトヲ達セラレタリ

九日 午前第八時頃ヨリ惣代兩人出勤、佐藤源大夫氏ヨリ頼ミニ参リ半切并ニ御札ヲ持参之事、午后小野五郎右衛門氏ニ譲リ渡シ登記料之事并ニ伊藤榎吉ノ廃嫡之願之下書ヲ願フ事

十日 雨天 午前八時頃ヨリ永井出勤ス、伊藤儀兵衛相続ニ付梅吉廃嫡之願書ヲ認メテ渡スコト、藤田治郎吉ニ女かめヲ出産届ケテ認メテ渡スコト

十一日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、木ノ山武兵衛より木ノ山多吉へ田地譲渡シニ付証文并ニ願書認メルコト、黒田卯之助同断

同日午後組長集合シテ、乙訓郡中かけ村中へ口達スルコトヲ各

組長ヨリ口達スルコトニ決スルコト

十二日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、永井宇兵衛父岩次郎ヨリ当事宇兵衛か出ば^(可)ニテ切ト申掛ケ候ニ付、向日町分署へ申出ル様申来リ候へ共、惣代へ一度呼よせて説諭ヲスルト申置候

小西与八ヨリ養女りうヲ離縁スルコト願書ヲ認メ渡スコト、森山宗兵衛ニ女りうヲ横大路村へ送籍願ヲ認メ渡スコト、小西与八より黒田卯之助へ宅地譲リ願書類ヲ認メ誓弘寺へ渡スコト

十三日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、午後組長集合ニテす、^(涼)みニテ、午後七時頃ニ退席スルコト

十四日 日曜日 晴天 ^(挿入)「十四日・十五日・十六日三日休ヲ写触スルコト」

午前八時頃ヨリ小嶋出勤、営業上り高調ヘラスルコト、永井休日、同日宮惣代清水市右衛門向神社集会ニ行コト、社殿警火ヲ置哉又ハ六人部氏ヲ神務所へ入ルノコトヲ ^(ママ)

十五日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、営業上り高調ヘラスルコト、野口常二郎祖母死亡ニ付埋葬願ヲ書直スコト、

各組伍長へかへ取り鳴谷山へ下草ヲ刈二行時ハ小塩村惣代へ言テ行コトヲ村中へ口達スルコト、北野金泉寺ノ有志ヲ前々口達スルコト、向神社々内ニ警火ヲ置哉又ハ六人部ヲ社務所へ入ルノコトヲ村中へ伍長ヨリ集会之上口達スルコト

十六日 白雨降 休日 大神楽来ル

十七日 白雨ふる 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、営業上リ高調書ニ掛ルコト、午後六時ニ退席ス

十八日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、営業上リ高調ヲ戸長役場へ差出スコト、黒田卯之助実印証明願ヲ書直シ渡スコト

十九日 晴天、午前十時頃ヨリ白雨降 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、永井戸長役場ヨリ照会ニ相成候テ午前十時頃ヨリ行、正十二時ニ帰宅ス、鳴坂五軒ハ向日町同様ニ紅提灯ヲ釣ルコトヲ被申、高等小学校ノ開場ハ本月廿五日ニ相成旨ヲ口達有、高等生ハ同日午前八時迄ニ出頭スル様ニ申暮トノコト也、惣代ハ三拾銭ヲ持出シニテ可成出席ヲ乞、同日花火・六濟大鼓（龍）クルコト

同日ニ村方ヨリ寄附金三円上納ス、教育費未納者へ口達スル様被申、帰宅ノ上ハ該人へ口達スルコト

二十日 晴天 午前七時頃ヨリ出勤ス、中小路久蔵男子出産ニ付報告書ヲ認メ渡ス、午後永井学校会議ニ行、明治十六年ヨリ十八年中教育費勘定違ヒ之アルニ付、午後四時頃ニ帰宅シテ清水市右衛門・永井九郎左衛門兩名ニテ小学校會計ヨリノ受取書ヲ調ヘルコト

廿一日 晴天 日曜 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、村会議員ヲ御苦勞ニ相成、高等小学校ノ補助乙訓郡内戸別ニ付八錢壹厘ヲ賦課スルノコトヲ戸長ヨリ被申候ニ付、村議員へ口達ニテ、決定ヲ認メ調印ヲ致シ候也

二十二日 晴天 午前七時頃ヨリ永井出勤ス、当村へ寄留柴田好太郎ノ二男市太郎死亡ノコトヲ申出報告ヲ持参スルコト、埋葬地ヲ拝借之願ヲスルコトヲ申渡置キ候也 同日午後第一期畑上納切符送附ニ相成候也

二十三日 晴天 午前七時頃惣代兩名出勤候処、小学校教育費未納者ヲ事務所へ喚集之コトヲ未納処分ニ郡吏岡本君・戸長役

場小野五右衛門^(部脱カ)兩人出張ニ相成、未納者ヨリ出金ス、生嶋信吉丈ケ出金不致、午後六時三十分ニ退席之コト

同日宮惣代清水氏向神社々務所へ郷中集会ニ出席御苦勞ニ相成候コト

同日伏見ヨリ淀川突井戸屋ヨリ井戸掃除ヲ依頼ニ参リ、依テ和井川下御妙林・字下川原ノ二ヶ所丈、壺本ニ付三拾錢ヲ以テサラヘルコト

二十四日 晴天、午後一時頃ニ白雨降 午前八時頃ニ永井出勤ス、宮惣代清水市右衛門・藤田重郎兵衛両君出勤ニ相成、前日向神社ノ咄シ、森本村丈戸別出シニテハ不出来、有志ニシテ金壺円五拾錢ヲ出スト申ニ、段々工業之者ニ引合ヲ吃テ候処、橘友吉ハ下直之書附ヲ出シ候ニ付友吉ニ引合ヲスルニ、太秦へ行候ニ付廿七日迄延引ニ相成候也

生嶋信吉教育費ヲ未納ニ付、役所吏戸長役場ヨリ付立ニ出張ニ相成、生嶋信吉出金スルコト

同日井戸やへ勘定金ヲ壺円廿錢渡ス

二十五日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス

二十六日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、戸長役場ヨ

リ小野利君、畑上納取集メニ出張ニ相成候也、森山宗兵衛長女リウ過日縁付ニ付送籍願ヲ差出シ候処、横大路村戸長ヨリ、妻ニハ無之縁女ニテ送籍ニ相成様申越シニ付、縁女ノ送籍ニ直スコト、民秋徳兵衛ノ印鑑届ヲ認メル、又印鑑証明ノ願ヲ認メルコト

二十七日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、明治二十年度教育補助費ノ切符戸長役場ヨリ送附ニ相成候、村民へ送附ス、戸長長谷川三郎兵衛出張ニ相成候処、御咄ニハ全郡高等小學校開業ニ付煙火ヲ打揚ルコト、自村字馬立ト申処ニテ地所貸暮様申サレ、依テ願書ニ地主兼村惣代印形ヲ永井九郎左衛門スルコト

同日午後永井出勤、安井権右衛門・安井与左衛門兩人工商業廢業届ケ書ヲ認メ渡スコト、井藤梅吉之廢嫡願濟ノ報知有之候也同日午後ヨリ向神社郷中集会ニ藤田重郎兵衛出勤ノコト、同日集会決テハ、戸別壺戸ニ付三錢出シニ決ス、井戸^(遺)ツムシハ村人足ニテ出スコト、自村八十五人ニ相成候処、明後三十日ニ八人丈ケ出スコト、当村中小路熊治郎ニ引合候処、十六貫荷ヲ一人ニ付式拾荷宛ヲ中小路熊治郎請合シ三拾五錢之約定スルコト

二十八日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、宮惣代清

水・藤田兩人出勤ニテ右土方引合ヲスルコト、右戸別出シハ十日迄ニ郷中会計方へ差出スコトヲ申被置候也

同日午前十時頃ニ井上捨吉居宅へ盜ケ入、午後貳時頃ニ永井宅へ申来リ、依テ永井出勤シテ盜難ノ届ケ書ヲ認メテ渡スコト

二十九日 半天、雲リ有 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、井藤捨次（病カ）二郎死跡相続届ケ書、井藤梅吉送籍ノ願ヲ認メ渡ス、標牌下付願ヲ戸長役場へ送附スルコト

同日教育費ヲ取集メニ役場ヨリ小の利右衛門出張ニ相成候也
同日今村友二郎盜難届ヲス、認メ、小林喜平次中小車再檢願ヲ認メ渡ス
同日鴨瀬山ノ租税ヲ使ヲ以テ取集メスルコト

三十日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、向神社土持人足、宮惣代藤田重郎兵衛出勤ニ相成候、土取場所変換ニ相成、元ハ社殿ノ裏ニテ土方へ約定致シ候処、社務所ノ裏手ニ相成、依テ道遠クナルニ付、土方手間約定ヨリ拾銭ヲ増シ都合四拾五錢ニ相ナリ候也
同後七時頃ニ祝燈出来ニ付、長谷川三郎兵衛ヨリ送附相成候也

三十一日 晴天 午前第七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、木ノ山多

吉譲リ受地券裏書願ヲ認メルコト、祝燈ヲ嶋坂五軒へ渡スコト、徴兵検査費未納ニ付本日取集メルコト

同日午後貳時頃ヨリ惣代・伍長集会ス、向神社戸別三錢出シヲ十日迄ノコト、多賀神社有志ヲ取計フコト、明日やすみコト、祝燈之コトヲ口達ス

九月一日 雲リ有、午後六時頃ヨリ（雨脱カ）白降
高等小学校開校（式）ニ付永井行コト

二日 雲リ有 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、小野五郎兵衛養男半二郎妻ツル死亡ノコトヲ申出候也、元一組要水講ヲシラセ有、同日会計ヨリ金式拾円借入スル

三日 雲リ有 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、元一組要水講行番へ通知スルコト

四日 日曜 晴天 （要）悪水講行番、小嶋政二郎・小の利右衛門・林田亀二郎・民秋岩二郎、掛ケ金借入ルニ付送ニ附

五日 降雨有 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、井上捨吉ヨリ村持字泰田ノ川ノ端ヲ直スニ付杭木竹ヲ暮様申来ルニ付、向日

町滝松ヨリ杭五本取ニヤル

六日 雲り有 惣代兩名他所ニ付休日

七日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、^(參謄)三坊本部測量官吏出張ニ相成、村方古杭式本ヲ買コト、代式錢ヲ取ルコト、午後一時頃ニ清水氏出頭ニ相成、向神社土持人足六人部ヨリ照会ニ相成、依テ明八日二人足中小路熊二郎外一人ヲ出スコトニ決スコトヲ申越シニ相成候也

八日 雲天 午前七時頃ヨリ永井出勤ス、永井治郎右衛門開墾之願書ヲ認メルコト、本日村中休ノ日

九日 晴天 午前第七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、戸別三錢出シノ錢ヲ各伍長衆ヨリ受取コト

十日 午前五時頃ヨリ白雨降、同十時頃ヨリ晴ル
午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、永井治郎右衛門開墾願書ヲ認メ渡スコト、向神社社務所ノ修腹^(復)全戸ニ三錢掛リヲ岩見上里村へ使治三郎ニ持遣スコト

十一日 日曜 晴天

十二日 晴レ雲り有 午前第七時頃ヨリ永井出勤ス、上田長二郎よりかけヲ致シ度候ヲ申来り候也、井藤儀兵衛より相續届ヲ依頼ニ参り候也

午後七時頃永井宅へ和田伊兵衛来り、向神社奉納角力・六濟^(齋)致シ度ニ付、村内有志ヲ向日町外新・森本村籠宗ト兩人ヨリ依頼ヲ受、依テ外式三名ヲ依頼シテ村内ヲ頼ニ参ルト申来り候也、世話方和田伊兵衛・中小路弥三兵衛・小嶋久兵衛・民秋岩次郎ノ四名ニテ村中へ有志ニ廻ルコト

十三日 雨天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、右世話方モ出勤ス、有志金寄高ハ六円式拾八錢貳厘、内三円ハ村ニテ残シ置、余金ヲ以テ向神社へ出金スルコトニ決ス、地方税切符役場ヨリ送附ニ相成、依テ各^(ママ)五伍長へ送附スルコト

十四日 朝雨天、午前九時頃ヨリ晴ル 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、植田長次郎ヲ呼出シテかげノ咄シヲ致シ候処、ヤメニスルト申居候也
同日午後向神社境内ニ於テ角力執行スルコト

十五日 雲り有、晴レル 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、村内規約書ヲ写スコト

十六日 雲り有リ 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、午前第九時頃ニろ組伍長秋田駒吉・へ組伍長植田嘉右衛門ト兩名ヨリ、村内若者が盆踊致度ニ付村内有志ニアルクコトヲ村惣代え依頼ニ参リ候、依テ其事ヲ右兩人ヨリ申越シニ付、早速外組伍長ヲ依頼ニ参セ候処、是ニ出頭ニ相成示談ス、本村ニ於テ盆踊ヲスルモカマハズ候得共、入費ヲ入ルコトハ相不成ト申、各伍長ヨリ夫々其組内ノ依頼者へ右ノ由ヲ申渡スコトニ決テス
午後早々ヨリ外村内規約之コトニ付、村中地価持一統集会スルコト

同日午前八時頃ヨリ戸長役場用係り小野利右衛門氏、地方税・公徴金^(儲)ヲ取集メニ出張ニ相成候也
同日午后地価持一統集会ス、村中規約書ヲノ咄シヲ致シ候処、其途中ヨリ永井治郎右衛門・永井五兵衛兩名被申候ニハ、其儘ニテ若者が有志ニ来タトニ付、村中へ夜盆ノ踊ハ相不成ト申、村中へ口達ス、其後向日町分署へ村内ノ者盆踊リ届ケ出べく候共聞届無之様ノ願書ヲ出スコト
村中規約書ハ現案ニ決スルコト

十七日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、永井治郎右衛門中小車破損再検願ヲ書、又上田嘉兵衛車再検願ヲ書、上田嘉左衛門ノ車湯川岩二郎名ニテ番号札ヲ書コト、上田三右衛門二十年前半季之分受取ヲ見テ暮様ノ達シ有、荷積諸車・人力車共ニ本月廿二日検査ニ付、本日午前九時迄二本役場迄出頭ノコトヲ申来リ候也、地券書換願ヲ書直スコトヲ申来リ候也

十八日 日曜 雲り有 休

十九日 雨降 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、清水市右衛門法華寺竹祓伐願ヲ尋ニ参られ候、森山儀兵衛中小車再検願ヲ認メ渡スコト、鎌田弁蔵永井宇兵衛コトニ付尋ニ参ル

今日午後永井戸長役場出頭ス、明治十七年ヨリ同十八年九月迄取調ヲス、裏書地券式拾八通下ケ付ニ相成、午後七時頃ヨリ頭地価持民秋岩二郎・小野利右衛門・和田伊兵衛・小嶋久兵衛・清水市右衛門ト惣代兩名ト集会ス、盆踊之処ハ^(断)段然留ルコトニ決ス

廿日 半晴 午前七時ヨリ永井出勤ス、前田郁太郎・中小路長左衛門ノ式名中小車再検之願ヲ認メルコト、植田嘉兵衛同断

廿一日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、山口九右衛門・森山乙八兩人車修繕ニ付再検願書ヲ認メ渡ス、道換ノ願書ヲ直ス

廿二日 晴 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、小の幸太郎・永井治郎右衛門・中小路左衛門三名之車番号ヲ書渡ス、小西与八ノ中小車御印落失ノ届ケ、修繕再検ノ願ヲ認メ渡ス、永井弥四郎再検願ヲ認メ渡ス

二十三日 晴天 秋季皇靈祭 村休日 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、下ヶ渡シ地券調ヘラスルコト、井ノ内村ヨリ嶋谷山ノ松茸ノコトヲ申越シ、鶏冠井村へ達ス

二十四日 晴天 午前七時頃ヨリ永井出勤ス

二十五日 晴 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、森山宗兵衛次女(路脱)りう横大村縁女送籍願ヲ認メ渡スコト

二十六日 晴 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、湯川岩次郎ヨリ民秋岩次郎方へ田地売買ノ登記之願書ヲ認メ渡ス、林田亀次郎ノ裂地地券願書・地価修正願ヲ認メ渡スコト、(新カ)真堀ノ池端ヲ

見分ス、凡五尺杭式拾本、長巻間こて凡巾巻間計リ

二十七日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤候処、午後一時頃二山崎街道見分トシテ郡吏出張ニ相成候ニ付、小畑川へ出張ス、橋下ニテ道ヲ付ルコトニ言スルコト、本日宮人足小林弥左衛門・森九左衛門・和田助二郎・小林庄左衛門四名、菅人八錢ツ、ノ手間賃ニテ出スコト、杭木末口三寸計、丸太丈拾本ヲ持参スルコト、使治三郎ニ井路へ遣スコト

二十八日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、大坂台公軍(讀脱カ)ニ付、戸長役場ヨリ小畑川へ村惣代出頭スル様口達アリ、依テ出頭候処、郡吏岡本出張ニ相成、有来リノ橋ニテ馬車通行六ツケ敷ト被申、依テ橋裏ノ所へ道ヲ付ルコトニ言フル也、本日村人足ヲ取候テ午前五人、午后七人、夜業五名ニテ、横木ヲ入レテ上ニ古俵ヲナラベ出来スルコト、午後十時也

二十九日 朝天 午前八時右公軍砲兵通行ス、午前九時ヨリ事務所へ出勤ス、裏書下附地券ヲ調ヘルコト、午前十一時頃ニ郡役所へ小使ヲ以テ右道ノ丸太ヲ取除ルコトヲ尋ニ参上スルコト、何時成共取除ルコトト被申居也

三十日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、地券下渡ス、

午後一時頃ヨリ永井、井ノ内村惣代へ（谷脱）鳴山松茸之咄シニ行候

処、売ラスコトニ相成、依テ帰村之上各伍長へ山へゆけるコト

ヲ口達スルコト、村方規約証ヲ書直スコト

十月一日 雲り有 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、志水村小金山すもふ手拭ヲ幾筋入ル有カ伍長へ尋ルコト、拾筋有之ニ付返スコト

二日 晴天 日曜 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、右すもふ手拭壹筋ニ付壹銭ツ、ヲ取集メスルコト

三日 晴天 休日

四日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、午后早々伍長集會ス、使ニ口達スルコト

五日 晴天 午前第八時ヨリ出勤ス、惣兩人向日町分署新築ニ付有志依頼之件ニテ、小嶋政次郎・林田亀次郎・湯川伊之助・中小路宗左衛門・民秋岩次郎・永井治郎右衛門・和田伊兵衛・藤田重郎兵衛・永井九郎左衛門九名ヲ明日六日二戸長役場へ出

頭スル様申来ルニ付、右人へ口達ス

六日 雨天 本日午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、村中野道造リヲ致シ、へ組張場字野添へ・浄徳ノ間芝ノ下へ行道ヲ直スニ付、和田伊兵衛ノ畑地茶ヲ二株引取ルコトヲ本人へ依頼ス

同日午后ヨリ小嶋氏ヲ前日ノ七人ヲ遣シテ戸長役場へ行コト、永井ハ村道造リニ付人々が色々尋ニ參故へニ、事務所ニ詰切之コト

七日 雨天、大雨降 本日午前第七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、永井宇兵衛父岩二郎、右宇兵衛ト頭ヲタ、イタト申来リ、宇兵衛ヲ呼ニ使シ候得共コズ、依テ植田清二郎ヲ呼ニ遣シ候テモコズ、又永井五兵衛ヲ呼ニ遣シ候テモコズ

八日 午前昨日ヨリ続大雨降、午後晴レル 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤、は組ヨリ久世村角力ノ手拭壹筋有ト申出候也

九日 晴天 日曜 休日

十日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、橋本藤吉妻いそ正産届ケスルコト

十一日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、午後休日スルコト

十二日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、本年七月一日ヨリ同九月中死者認許書取集メテ分署認印ヲ乞テ戸長役場ヘ差出スコト

十三日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤候処、小野大君出張ニ相成、神風講社今夕世話方ヲ集会スルコトヲ申被置候ニ付、世話方ヘ口達スルコト

同日午后四時頃ヨリ惣代・組長共集会ス、例年ノ松茸めしヲスルコト

十四日 晴天 休日

十五日 晴、少シ雲リ有 午前ヨリ惣代兩名出勤ス、諸々業・車税切符役場ヨリ送附ニ相成、小前送附スルコト

十六日 晴天 日曜 休

十七日 晴天 村中休日 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、永

井治郎右衛門開墾願再度出ス

十八日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス候処、藤田治郎吉敷地開墾ニ付実地丈量スルコト、同日戸長場ヨリ小野利右衛門氏、地方税取集メニ出張ニ相成候也

十九日 半天 午前七時頃ヨリ永井出勤ス、小の勘七より娘ノ送籍ヲ願出ル、先方ノ番戸不分明ニ付後日ノコトト申置候也

二十日 午前雨降、午后晴レル 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、午後休日

二十一日 晴天 午前七時頃ヨリ永井出勤ス、小野勘七長女さき鶏冠井村五十棲岩吉方へ縁付ノ願認メ渡スコト、中小路長左衛門ヘ米中売鑑札願ヲ認メ渡スコト、上田三右衛門ヘ飲食店ノ鑑札願ヲ認メ渡スコト

二十二日 晴天 午前八時頃ヨリ永井出勤ス、藤田治郎吉ヨリ開墾願ヲ戸長役場ヘ一昨廿日差出シ候処、図面不都合ニ付却可ニ相成、依テ右図面ヲ引直シ本人ヘ渡スコト

二十三日 朝雨 日曜 午前七時頃ニ戸長役場ヨリ宅畑山林原野税切符差送りニ相成、永井ヨリ小前一統へ送附スルコト

二十四日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、小嶋久兵衛 出産届・佐々木寅吉出産届ヲスルコト、和田伊兵衛・林田亀二郎地券裏書願ヲ認メルコト

同日午後真堀ノ池端ヲ修繕スルニ付、土方中小路熊五郎・安井与左衛門兩人へ四人手間ニテ請取ラスコトニ決テス

戸長役場ヨリ中小路弥三兵衛・中小路久蔵・鎌田与蔵・森源之助・井月善右衛門差紙ヲ送附ニ相成、依テ本人へ送附ス、真堀普請ニ午後ヨリ係ル

二十五日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、戸長役場ヨリ小野氏出張ニ相成、畑宅山林原野租ヲ徴収之コト、永井戸長役場へ出頭ス、旧社倉金年賦金ヲ一時出金ラスルコト御咄シ有テ、帰村ノ上、外係リ人ト相談ヲ致シ明後二十七日ニ返事ノコトヲ被申、依テ永井帰村ス、同日夜飯早々ヨリ係リノ入ヲ事務所ニテ集会スルコト、向日町分署建築件ニ付、高地価持十八名ヲ寄セテ、志有^{（挿入）}ノ件ヲ示談スルコト

二十六日 晴天 一^{（挿入）}真堀修復午前ニ出来スルコト

午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、分署新築件ニ付、民秋徳兵衛・小野利右衛門兩君御苦勞ニ相成コト、同日夜地価持一統協議ス、分署有志へ地価割トス

二十七日 晴天 午前七時頃ヨリ永井出勤ス、愛宕神社ヨリ講ヲ依頼ニ參ルコト、十一時頃ヨリ向日町役場永井出頭ス、旧社倉金年賦ハ全郡一統返却ニ相成候へハ自村モ返金スルコトヲ申置キ

租税課官吏出張ニ相成、自家用^{（料）}酒ヲ造ル者ノ有無取調ヘルコトヲ被申候也、物産会ニ出品ノ品ハ稲ノ株付ニ株ト実綿百目ト出スコトニ申、午后五時頃ニ帰村ス

二十八日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、向日町木村辰之助方へろうそく五拾錢ヲ買フコト

二十九日 晴天 一^{（挿入）}和田伊兵衛・森好松ノ地券願ヲ九月廿二日差出タルコトヲ役場へ

午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、諸講社通検査ニ付下調之ため法花寺講世話方民秋徳兵衛出張、誓弘寺講世話方森山儀兵衛、六人部講世話方和田伊兵衛喚寄セ御口達スルコト
同日午後七時頃ヨリ村内組長ヲ集会ス、自家用料酒検査之コ

ト、地券裏書日数ハ証文日当ヨリ六十日間、興行進物ヲ入ルヨリ早々組長へ申出ルコト、田虫ヲ刈り取り焼捨ルコト、愛宕神社ヨリ講ヲ依頼之コトヲ村中洩レなく口達ノコトヲ、右組長へ依頼スルコト

三十日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、永井戸長役場へ講社通ヲ持参スルコト、明治十七年七月以前之分ハ仕法帳ニ百円ニ付拾銭印紙ヲ帖用スルコト、通ニ壹銭印紙ヲ貼用スルコト、右払渡之分ハ印紙貼用ノ法ヲ以テスルコト、請取ノ処へハ壹ケ年分壹銭ツ、ヲ帖用スルコト

三十一日 少シ雲リ有 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、講社通之コト民秋誓迎寺ニ印紙帖用ノコトヲ口達ス
三十日午後神足村出火ニ付、治三郎幟リヲ持テ行コト、ちん銭拾五錢渡ス

十一月一日 雨天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、六人部講通拾三通和田伊兵衛へ相渡シ候事

二日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤スルコト

三日 晴天 天長節 村中休日 惣代兩名共上京ス

四日 晴天 一（種々）同日森本村より道路修繕ニ付有志ヲ依頼、清水為二郎・同庄左衛門・同甚右衛門

午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、小嶋戸長役場へ出頭、講社通之コトニ付戸長ヨリ口達ハ、官吏出張之際ニ印紙帖用スルコトト申被居候也

五日 午前晴レ、午後雨 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、荒地起返り地券書換之願ニ係ルコト

六日 日曜 雨 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、藤田甚七妻ムメノ受籍願ヲ認め渡スコト

七日 晴レ 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、安井権右衛門死亡ニ付、届ケ人親族惣代嶋田佐助ノ届ニシテ死亡報告（告）造書ヲ渡スコト

八日 小雨降 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤候処、十九年々期明之地券書替願ヲ書、小前印形ヲ押サスコト

九日 晴レ 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、右起返り地券願
ニ係リ居ルコト

十日 小雨降 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、午後ヨリ鷄冠
井村生嶋行

十一日 晴天 午前八時頃ヨリ向神社氏子御火焼祭ニテ惣代・
宮惣代・伍長集合ニテ氏神へ御献供、御志た餅・花ひら仕立、
午後四時頃ヨリ参詣ス、夕飯ハ鳥好

十二日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤候処、上田三右
衛門よりかげ致度ト申来ルニ付、サ、ヌコトニ申聞スコト

神風講社ノ神宮より麻札ノコト
同日午后夕方ヨリ村金世話方ノ内ヲ(ママ)

十三日 日曜 晴天

十四日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス

十五日 晴 午前八時頃ヨリ出勤ス、講社通ヲ戸長役場へ送附
ス、村金子よせニ付世話方并借り主名前調ヘルコト、分署有

志金願ヲ(符)差出スコト

十六日 晴レ 午前八時頃ヨリ出勤ス、森好松ヨリ村金返済ス

十七日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩人出勤ス、森好松ノ登記
取消シニ永井行

十八日 晴天 惣代兩人出勤ス、講社通検査之コト

十九日 晴天 村惣代外村金之世話方集合シテ村金ノり子よせ
スルコト

同日永井戸長役場へ出頭ス、国民軍籍之者壹人ニ付五錢出シト
昨年(披露)比路有之ヲ、本年ハ一戸ニ付五錢出シト相成候也、新兵入
営ノ際ニ送ルコト、農談会委員ヲ申被渡候ニ付、湯川伊之助ト
上田嘉右衛門ヲ依頼シテ極メ、戸長役場へ差出スコト

廿日 日曜 晴天

廿一日 晴天 惣代兩人高雄行

廿二日 晴天 午前七時頃ヨリ総代兩名出勤ス、森源之助ヨリ

村金借用之分返金スルコトニ付、証文抵当ヲ返スコト、金百円
トリ子拾円ヲ永井・小嶋兩人ニテ受取置コト、右金ハ小嶋へ預
ケルコト、戸長役場ヨリ秋季種痘連名ヲ送附ニ相成候コト

二十三日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、小野利右衛
門殿御苦勞ニ相成、村金管守ノ為種々条目ヲ造ルコト、午後ヨ
リ和田伊兵衛ト兩人御苦勞ニ相成ルコト

二十四日 雲り有 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、午後永井
戸長役場へ出頭シ社倉金返済之受書ヲ差シ出コトニ相成候也、
新兵入営期日本月三十日ニテ、惣代付添へニテ伏見稻荷前玉鍵
屋へ午前十時迄ニ出頭スル様被申、村民見送之義は村方ノ都合
ニシテ宜敷ト被申、依テ帰村ノ上、午後六時ヨリ組長・惣代ト
共ニ協議ヲ致シ、へ組ハ戸別耆人ツ、出ルコト、外組ハ五頭・
組長共ニ見送ルコトニ決ス

森本村道路修繕志有金、壹戸ニ壹錢五厘ツ、出シテ本月中ニ取
集メルコトヲ依頼ス

徴兵ノ積立トシテ戸別耆年ニ五錢出シノ咄ヲスルコト

二十五日 晴レ 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、安井左右衛
門ノ宅地南ノ方東つらノ上ニ村道有之候処、崩レ落ちテ法華寺

山ヲ道ニシテ人通ルニ付、見分ヲ為シ塚へ杭ヲ入ルコト、永井
治郎右衛門新開ノ北つら道ヲカジコミ直スコトニ申渡スコト、
法華寺惣代民秋・秋田・清水、左右衛門・永井治郎右衛門ト惣
代兩人立会之上之ヲ定メルコト

二十六日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤候処、規約書名
前ヲ書コト、小野作右衛門亀吉ノ就学猶子願ヲ書、角上明道ノ
とくノ就学猶子ノ願ヲ書コト

二十七日 晴天 午前七時頃ヨリ惣代兩名、外ニ村金世話方小
の利右衛門・民秋・和田・小嶋久・藤田吉之助・永井治郎右衛
門・清水御苦勞ニ相成候ニ付
同日午後一時ヨリ外世話方モ集会ス

廿八日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、小嶋政二郎戸
長役場へ本元一組要水講ノ通検査ニ付出頭スルコト

廿九日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤候処

三十日 晴レ 午前七時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、小野禎次郎徴
兵入営ニ付、村中伍頭・へ組中・各組長共々向日町ステシヨ迄

見送り之コト、是ヨリ惣代老人伏見稻荷前玉鍵屋ニテ縁会ヲ開
キ、三文字屋ニテ京都府知事北垣公出張ニ相成御廻ノコト、大
津へ見送り中村楼ニテ一宿ス、明ノ十二月一日入営スルコト

十二月一日 晴レ 本日永井大津ニテ入営ヲ見送り、午後七時
頃ニ帰宅ス

同日太神宮ノ発札スルコト、神風講取締・副前締^(取)リ其外世話
方、講社ノ人員集合シテ発札ノコト、中飯ハ事務所ニテ、右講
会ハ鳥好席ニテ相開クコト

二日 晴レ 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、神風講社ノ御初
穂ヲ名前書届ケ書ヲ認メルコト、種痘名前ヲ布令サスコト

三日 晴 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、村方貸附金帳簿ヲ
書クコト、中小路浅吉工業鑑札返上届ケ書ヲ認メルコト、午後
国道小修繕ニ付土取場ノコトニ付惣代永井出頭ス、戸長役場へ

四日 日曜

五日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、村費下調ヘラス
ルコト

六日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤候処、第三期地租取
纏メニ役場ヨ小野氏^(野)出張ニ相成、小の亀吉・角上とくノ休校之
願ヲ渡ス、堀池半右衛門出産届ケヲ認メ渡ス

七日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、全郡聯合会議員
辞職ニ付補欠委員撰挙、村会議員内ニテ三名投票委員投票スル
コト、村費下調ヘスルコト

八日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、村費取纏メ切符
ヲ認メルコト、投票委員ノ投票ヲ戸長役場へ持参ノコト

九日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、村費切符認メ各
組長へ送附ス

十日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、村費切符小前へ
送附スルコト、午前ヨリ乙訓全郡聯合会議員撰挙ニ付、当村投
票委員清水市右衛門・永井九郎左衛門ト兩人出席ス、議員今里
村正木安左衛門二点数二十五点ニテ当撰ニ相成候コト

十一日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名・社倉金世話方利子金
よせスルコト

十二日 晴 午前八時頃ヨリ惣代兩名・各伍長立合ニテ村費取纏メ、地租壹円ニ付三錢五厘、營業税金壹円ニ付五錢ツ、戸別壹戸ニ付米貳升五合ヲ取纏メ候也

十三日 晴レ 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、午後六時頃ヨリ惣代・各組長立合之上、村内營業者ヲ呼ヒ村持田畑年貢米共入札ヲ致シ、先ニ拾貳石ヲ入札候処、高札ハ壹石ニ付四円三拾五錢五厘ニテ林田亀二郎へ落札ニ相成、後拾貳石四斗三升五合ハ高札四円三十六錢七厘ニテ井月善右衛門へ落札ニ相成候也、翌日午前二時頃ニ帰宅ス

十四日 少シ雲リ有、小雨降 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、他所持地村費地租壹円ニ付七錢ヲ取纏メスルコト

十五日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤候処

十六日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、惣代兩名共向日町長役場へ出勤ス、小学校入費明治十六年ヨリ十八年中出入受取書ヲ引合スコト、村中持地所・村中金ヲ取調ヘルコトニ被申候也

十七日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、村費決算ヲスルコト、午後六時頃ヨリ六人部講ノコトニ付世話方集會之上ニテ、右ノ村持分ノ咄ヲスルコト、今田畑山林共ノ地ヲ新ニ買求メタル田地丈ケハ村中養水井路ノ手当トス、旧ヨリ有来リノ物件ヲ村費ノ内へ入ルコトト決テス

十八日 晴天 日曜 午前八時頃ヨリ惣代小嶋出勤ス、永井午後出勤スルノ心組ノ処、午後一時頃ヨリ上田善兵衛方ノ未申ノ方ニ鶏おいこミ有之候処ヨリ出火ニテ、近隣ノ者永井宇兵衛一番ニ出ル、二番湯川岩次郎カケ付ニ消防スルコトノ始メ也
(補入)
 一成一付分署へ取調へ書ニ印形スルコト、追々村方ノ者出て消防ス、後ニテ向日町・今里村・馬場村ノ三ヶ村消防方ノ織(織)リヲ以テ出席ノコト

十九日 晴天 午前八時総代兩名出勤、永井治郎右衛門・秋田駒吉・永井五兵衛ノ三人三ヶ村へ札ニ行キ、和田伊兵衛合地願伺イマス、其ヨリ永井九郎左衛門戸長役場ヨ(兼)教成金ノ儀ニ付出勤之事、并公証取消ニ行キ、郡役所・分署へ失火ノ札ニ參ル事、小島内ニ在リテ小野禎一郎入當ノ旅費証ヲ(欄外)「二」通(欄外)認メ、并ニ小野捨吉妻子貰受々書ヲ認メ渡シ、其ヨリ藤田吉郎右衛門ノ中小車修繕ノ願ヲ認メ、米寄俵八俵代則チ拾六錢ヲ小林弥左

衛門ニ渡シ

廿日 晴天 午前八時頃ヨリ惣代兩名出勤ス、社倉金返却ニ付
公証印取消シノ願書ヲ外村方へ買受ノ証証認メルコト

廿一日 晴天 午前七時出勤、六人部より宮札ノ実ヲ取りニ参
ル事、十九日和田伊畦畔ノコトヲ伺候処、何レハ粉(粉)入候哉見当
り難キニ付、猶ヲ二通ヲシタ、メ出スコト、秋田嘉平次ヨリ買
受今里領登記願書并ニ植田清次良ヨリ買受証文・登記願書共認
メ、物件証明願ヲ長法(寺脱)村戸長役場へ差出シ証明ヲ乞フ

廿二日 (ママ) 晴天 午前七時総代兩名出勤、前日認メ証文願書へ押
印ス (挿入) 同日井ノ上勘右衛門より、上田吉郎兵衛ヨリ中小路弥
三兵衛田地ノ年貢米一件ニ付上納スル様申暮様申来ルニ付、年
貢ノコトハ明後二日ノ間拙者ハ郡役所へ行コトニ付咄シラスル
コト不能、依テ急クコトナラハ御断ノコト、廿五日ニテモヨキ
コトナラハ咄ラスルト申居コト」

廿三日 晴天 午前七時総代兩名出勤、永井登記出願之処、村
会評定書無之テハ登記致難キニ付帰村仕、同夜村会議員募集致
シ評定書へ調印ノコト、小島内ニテ颯ノ錢ヲ渡シ并規約書ノ内

落印ヲ取ルコト

廿四日 晴天 午前七時頃出勤、昨日(昨)ノ評定書ヲ添へ登記出願
之事 (挿入) 同日右廿二日ノコトニ付、井ノ上勘右衛門ヨリ又同伴
ヲ依頼ニ参ルコト」

廿五日 晴天 (挿入) 同日上田吉郎兵衛ヲ咄出シ、年貢一件ヲ咄シ
候処、何分子共三人モ有コトニ付、妻しゑガモドルコトナラハ
何時ニテモスルト申、中小路弥三兵衛ヲ咄候処、何様ニ申ニ付
妹ヲ返スコトハ如何ト申候処、如何様ニ申暮被候共返スコトハ
シマセン、依テ裁判所へ訴テ年貢ハ取ルト申居ニ付、御勝手ニ
被成ト申断コト」

午前七時総代兩名出勤、取消済之証書ヲ其々本人へ渡ス、同夜
総代・組長改撰用紙ヲ渡スコト

廿六日 晴天 午前八時総代兩名出勤ス、植田九郎兵衛ヨリ借
金四百五拾円ノ内ヲ受取ニ参リ、貳拾五円ヲ渡ス事、午后共有
取調書認ム事、并ニ村費精算之事、村総(代脱)・各組長投票ニ付用紙
ヲ渡スコト

廿七日 晴天 午前七時頃出勤ス、本村共有取調書及養成金寄

付受書ヲ認め、后季ノ勘定ヲ勘定帳ニ写ス事、総代半期交代ニテ現金ヲ会計ニテ扱ヒ年給三円ヲ付ス、颯ノ賃四錢五厘ニ決定ノコトヲ相談ノ処、諸君賛成之コト

廿八日 半雪 午前八時総代兩名出勤、共有物取調書并ニ養成金・物産品評調書及和田伊兵衛合地願ヲ差出ス事、分署新築ニ付有志ノ受書ニ印ヲ取ル事

同夜投票開キノ処、総代高点清水市右衛門、次点小島久兵衛ニ当撰ニ相成、イ組長湯川伊之助、ロ組長小林喜平次、ハ組長植田九郎兵衛、ニ組長中小路弥宗平、ホ組長藤田吉郎右衛門、ヘ組長ハ藤田重郎兵衛ニ当撰ニ相成、前日定ノ総交代ノ事ヲ申渡ス事、時午后十二時也

廿九日 晴天 午前八時総代兩名出ス、^(勤脱カ)社倉金世話方御旁^(害脱カ)ニ相成、社倉金精算ノ相談ノ事、同夜村方養水金世話方拾名立合之上ニテ貸付金台帳へ書加へ、帳箱ハ湯川伊之助方へ、預リ金ハ貸付済之コト、鍵ハ秋田駒吉へ預ケ置ク

三十日 雲り有 午前八時ヨリ惣代兩名出勤ス、脱落地々券下ケ渡シニ付地券台帳其他地ニ係ル帳面訂正済、上田長次郎実印破損ニ付改印届ケ并ニ出産報告・入籍届ケ認め渡スコト

(表紙)

「明治廿壹年度

日誌

上植野村

総代」



一月三日 晴天ニテ 午后三時頃ヨリ旧惣代・新惣代及会計方五名立合ノ上、事務正ニ請取候也

四日 晴天ニテ 惣代兩名八時ヨリ出勤候テ、太々神楽舞ス事、午后ヨリ新組長年頭式ニテ宮惣代投票、神札渡ス、事務ノ小便入札ス、及惣代現金取扱不切符ニテ差出スノコト、右四件各組長へ御咄シ致シ候テコト、大藪傘破損扱答スル、子供摺出シコト、午后七時退席ス

五日 晴天 午前八時兩名出勤ス、旅所燈^(籠)直シ人足林田六右衛門・藤田甚七式人ニテとろおこシテ事務所据直シテ半日勤、次ニ杉本権之介、佐藤喜左衛門死亡ニ付法名書持參ニテ出頭スルコト、午后三時頃ニ永井九郎左衛門依頼シ各分諸願手續ヲ尋テ、午后六時頃ヨリ帰宅ス、午后一時頃ヨリ安井与左衛門字吉備寺墓所掃除之件ニ付御咄シ致置テ、一時三十分ニ帰宅ス、夫

ヨリ各組長共ニ鳥好私費ニテ年賀ノ式行、午后十二時ニ帰宅スルコト

六日 晴天 午前八時頃ニ兩名出勤シ、字上川原突井戸立杭テ、午前十時頃ヨリ清水戸長役場、村田字大田・野添・泰田地券書換願携帶テ行、小じま久兵衛氏ハ湯川伊之介より村養水講金借用抵当持参ニテ出席ス、午后一時小林弥左衛門妻子おつる私方貫請スルニ付一如哉候、午后一時小使治三郎長法寺村戸長役場、字迎川原山林村持地券書換願書戸長役場証明貫行候、各組長え無届ニテ開墾致へからス申入、中小路弥惣兵衛、植田吉郎兵衛披是スルニ付、吉郎兵衛神足村油屋田地小作スルニ付中小路弥惣兵衛請人ニテ未夕年貢米不納ニ付、其件御依頼相成候、又次午后七時頃ヨリ小の利右衛門・永井九郎左衛門・小じま政治郎・和田伊兵衛村墓所戸数割ニ付相談スルコト、午后十二時ニ退席ス

七日 晴天 午前八時頃ヨリ清水出勤ス、杉本権之介、佐藤喜左衛門認可書ヲ上里村え送ルコト言、次ニ安井武右衛門、権右衛門宅地ニ付交換コト御咄シス、午后村田字大田式通・野添彦通・泰田彦通・迎川原彦通、右五通地券裏書願差出ス、午后退席ス

八日 晴天 日曜 休業ス

九日 晴天 午前八時惣代兩名出勤ス、安井武右衛門地目交換コト咄ス、鷄井冠村鎌田弁藏氏聯合議員ニ府下一般地租百ノ一願書京都府差出ニ付、地租金十円以上名前ノ者連印スルコト、弁藏氏より持参之コト、湯川伊之介親族村金借用証々認テ印落ニ付印押出スコト

九日夜集会席へ出席人名ハ民秋・小野・小嶋・永井・和田・各組伍長、会決スル義ハ該租稅減額願書ニ調印取ルハ事務所ニ請附スルコト、二日、突井戸屋才藏ト申者同日ニ出頭シ口仲居ニハ、各年惣代ニ依頼候処何日頼被下候哉相尋居候間、且又始聞ニ付右出席方へ熟談候処、先減額ニテ承服スノハ為致候様ト口決ス、但シ深サ拾間以下ハ金五拾錢計、拾間以上は金七拾錢程ニテ、余請品等該人之手払ヒニテ先此ヘンニテ咄スルコト
該日午後ヨリ小嶋政治郎夕方迄該名簿書一札手伝被下、半人当席スルコト

追テ同夜官惣代立合之上開札之処、高点八拾五點有之ハ永井九郎左衛門、二点四拾五點ニテ小嶋政次郎、右兩名当撰ニ相成り候コト、同席ニテ事務所小便開札候処、金壹円拾錢五厘ニテ木ノ山多吉へ高価ニテ落札之コト
同夜乙訓郡聯合町村會議員ヨリ咄し聞及肥料会社之件咄し仕候

間、先草案ヲ拝見之上名々意志ヲマスコト

十日 晴天 午前七時二兩名出席シ、早朝各人民へ印鑑事務へ持参スルコト、及宮惣代兩名ニ当撰ヲ向日町六人部へ報知スルコト、事務所小便ヲ木ノ山多吉へ落札之上、該証書ヲ認メ調印致サスコト

午前十時当村安藤庄之介盜難罹リ、金貳円・藍鼠ヒシロキ式点盜難届ケ差出スコト、向日町木村辰之介美濃界紙百枚・半界紙貳百枚・半切式本持参候也

十日夜惣代清水市右衛門宅へ上川原小作人名永井五左衛門・林田六右衛門・中小路忠左衛門・安井定次郎・安井杢右衛門五名相頼見え候件は、上川原田地之水ヲ被掛候故、我等々冬作対シテ実ニ困難致居候間、該水ヲカケルコトヲ相不被相下様ニ依頼(術力)相見へ候コト

十一日 晴天 朝七時頃ヨリ惣代出席之処、角上明道出頭被致、鉄道線路東口より南口迄東側界黒杭明瞭不相成候ニ付、該杭ヲ定メルニ付一覽有之様ニ申来り候ニ付、現場へ惣代・永井現地ヲ一覽シ、先前後杭見トシテ杭ウツコトニ定メ

同日朝井ノ上寅吉盜難届出シコト、木ノ山多吉事務所小便証券へスルコト、午前十一時頃ニ安井与左衛門墓地事ニ事務所呼寄

ニテ其事柄咄シスル、午后三時頃ニ字上川原ノ件ニ付民秋徳兵衛相談スルコト、次ニ地租減額ニ付連署書かいて村鎌田弁蔵氏送ルコト、次ニ安井与左衛門墓所種代料金五拾錢渡スコト

十二日 晴天 兩名出席シ、戸長役場ヨリ府會議員撰挙スルコト廻送来り候、同朝永井次郎右衛門出頭致し受取切符ヲコト咄し仕候コト、同上田美津長男庄吉ヲ小学退校書ヲ願来り届ケ書認マルコト、次永井治郎右衛門御塔道畑及木ノ山多吉円山畑・木ノ山武兵衛南小路・安井民右衛門円山畑丈量行、午前第十一時帰宅ス、午后片山助次郎及植田重左衛門字上川原水ノコト事務出頭ス、次ニ杉本権之介、佐藤喜左衛門死亡ニ付認可過日岩見上里村送り候処、其認可本日返戻ニ付、其事ニ付杉本権之介事務所出頭シテ小野五郎右衛門悉ク尋候、午后二時頃ヨリ植田吉郎兵衛相続件ニ付、旧十二月頃ニ永井九郎左衛門依頼候件々イヨイヨ裁判所出頭スルニ付、其手續キ書認可ク様依頼相成候処、午后五時頃ニ帰宅ス、同日夜永井九郎左衛門氏出席シテ其事段御咄シ候処、植田吉郎兵衛呼寄セテ、永井九郎左衛門より植田吉郎兵衛直々御咄候、決義ハ先裁判所ヨリ都合扱リニテ永井九郎左衛門呼寄ルコトニテ決議スルコト

十三日 晴天 午前七時頃ニ出勤シ、林田龜治郎及木ノ山武兵

衛・永井治郎右衛門開墾ニ付上伸書戸長役場へ差出スコト、午
后一時頃ヨリ前田郁太郎道路路付替願書・小の利右衛門道路路付替
願書、右兩名指令書相成候間、其コト前田郁太郎事務所罷越其
コト御咄シス、湯川伊之介借用金証々^{マコ}參持ノコト

十四日 晴天 七時頃ヨリ兩名出勤ス、前田郁太郎道路着手願
書差出、植田美津退学願書差出ス、十三日戸長役場差出シ書面
返戻ニ付、再訂正シテ夫々連印取ルコト、和田伊兵衛合地願書
落印ニ付、再願書認メテ差出スコト、同日午后三時頃ニ安井与
左衛門墓所作物取ルコト不服申立ルニ付、置テ取ルコトニ説諭
スルコト、同日夜ニ社倉金湯川伊之介借用証々相認テ、其事ニ
付集会スルコト

十五日 晴天 午前休日、午后一時頃ヨリ戸長役場経費及教育
ヒとも切符送相成候ニ付、当村各組長へ配当シテ帰宅スルコ
ト、同日午后鎌田弁藏氏事務所罷越シ、植田吉郎兵衛件ニ付乍
手数依頼申上候也、一昨日伏見裁判所罷越シ件々、然ルニ二十
五日迄下ニテ示談可致候トノ法底^{マコ}より御申聞セニ付、其事ニ付
村方依頼願申上候、植田吉郎兵衛始メ中小路弥惣兵衛兩名御説
諭被下度依頼申上候也、後七時頃ニヨリ帰宅スルコト

十六日 晴天 午前第七時頃ヨリ兩名出勤ス、墓所及字上川原
地面并井出取場ノ兩三ヶ箇検査ニ出張スルコト、次ニ午后會計
方ニ金六円取ス、次ニ安井与左衛門墓所取片付ニ付、成功之上
金式拾錢渡ス事、次ニ各組長事務所出頭、府會議員投票用紙渡
ス、次田地租第二期切符配達スコト

十七日 雨天ニテ 兩名出席シ、朝ヨリ小の五郎右衛門出頭被
下、開墾敷ヲ案内被下候コト、同戸長役場ヨリ用掛リ小の利右
衛門様役場費取纏メニ出席有之候、就テハ午後ヨリ村講相催シ
仕法帳割方之義ニ付、民秋・永井・小嶋出席被下割方ヲスルコ
ト

同午十二時京都突井戸方才藏之義出頭任、前日ヨリ該突井戸協
議決テ才藏ニ咄し致し候処、協決之通ニテ才藏方承諾致し居候
コト

南路四十四番地里道着手御届ケ、小の・築山・惣代兩名連印
ニテ午後早々ニ差出候也、及開墾上伸林田亀次郎分差出し候、
次ニ午后七時頃ヨリ上川原連中過日来ヨリ御依頼申置件々御尋
ニ、永井長次郎・中小路甚左衛門・安井武右衛門・林田六右衛
門、其事御咄シ致置テ帰宅ス

十八日 晴天 午前七時頃ヨリ兩名出勤シテ、上川原井戸溝塞

ニテ人足藤田藤蔵ニテ直ス、次ニ林田亀治郎開墾地査シ帰宅ス
ルコト、次ニ今里村客十二月より村費十六銭ノ内四銭七厘、一
月十八日午前十時頃ニ返金候也

次ニ前田郁太郎子死亡ニ付事務所申出相成候、府會議員投票各
組長取纏メルコト、次国税・車・營業切符配達スルコト、嶋田
重介開墾上伸認メラルコト、和田伊兵衛畦畔^(廢カ)発除ニ付御願事コ
ト、他所え田租切符配達スルコト

同日午後嶋田重介宅畑開墾上伸届及^(挿入)「十九日朝」木ノ山武兵衛
無願開墾ニ付自首書認メ、午後二時頃出シコト

十九日 兩名出頭シ、朝天ヨリ人足藤田治郎吉ニテ兩名共墓所
丈量仕、凡戸数割仕、午後ヨリ同治郎吉人足ニテ後二時余迄該
地ニ割方ス

同日午前九時頃ヨリ永井次郎右衛門及林田亀次郎兩人、郡役所
え府會議員開票ニ付出席被下、午後四時頃帰宅ス

同惣代該地丈量割方後、前図ヲ整候、同日午后七時頃ヨリ神風
講中集会ス件々、当村内補成講相催スニ付御咄シ、名前は小の
利右衛門・民徳^(秋晚)兵衛・永井九郎左衛門・小嶋政治郎・小林喜
平治・永井治左衛門・和田伊兵衛・中小路弥惣兵衛・永井治郎
右衛門・秋田富三郎・植田嘉右衛門、右名前寄集ニテ相談ス
ル、墓所戸割全図相談スル、多賀神社有志者事先金五拾銭位ニ

決定ス、午后十二時帰宅ス

二十日 晴天 朝七時頃ヨリ出席シ、墓所丈量割方致シ、午前
十一時余迄該墓所ニ居候、午後ヨリ永井九郎左衛門・小じま政
治郎出席被下、村講掛金割ヲス、午後六時帰宅ス

同夜午後八時頃ニ戸長役場小使持来リ候書類、上田みつ小学猶
予願書返可相成候、就テ地籍編算^(簿)ニ付全図ニ調印被致様庶務課
ヨリ達し有之候コト、来ル廿三日出頭スルコト

二十一日 惣代兩名上京シ三戸斗石ヲ相尋仕候、且又多賀神社
有志金五拾銭出金仕候

二十二日 ^(前カ)午後八時より出頭仕、村講及養水之義ニ付小の・民
秋・小じま・和田・惣代兩名共該講割方仕、午後ヨリ養水突井
戸之場所ヲ相定メ候、地は字伴田新堀水口ト樋爪横かまち、字
切之口掛越角ト三ヶ所ニ相定メ候コト、但シ該日中飯は当役場
ニテスルコト、才藏よりばら二本遣シ有之ニ付有ニスルコト

二十三日 晴天ニテ雪有少 午前七時頃ヨリ総代兩名、京都府
知事庶務課ヨリ地籍編算ニ付出頭可致様ニ付、同日京都ニテ一
泊シ、翌日二十四日午后三時頃ヨリ帰宅候也

〔挿入〕十四日 戸長役場ヨリ小使、当村総代只今出頭ノコト申越シ、早々清水氏は戸長役場行候処、過來ヨリ地租^租経減^租ノコト

連印願書取消相成様被申、直ニ府会議員寺戸村岡崎省吾宅総代兩名罷越候処、岡崎氏不宅ニ付止得ス帰宅ス、次ニ植田吉郎兵衛相続件ニ中小路弥惣兵衛事務所迄呼寄せ、直ニ中小路氏御咄シ致候得共、中小路氏は再々植田吉郎兵衛宅ニテ相続被致難キニ付、倒^{到底}抵示談致難キニ付、止得ス明日廿五日裁判所へ出頭ノコト、又植田吉郎兵衛其件々御尋候処、中小路氏段々掛合行候得とも中小路氏は止得ス裁判所罷越筈也、次ニ再度岡崎氏午后七時頃ヨリ宅行、地租^{賦力}経^{賦力}ニ付候処、拙者手元迄取戻り相成候テ、明日鶏冠井村鎌田弁藏宅迄返却候ニ付、左様御承知被下度御答ニ付、兩名帰宅スコト、次ニ井上勘右衛門合羽失落ニ付^{マダ}署分え差出シノコト

二十五日 晴天 午前八時頃ヨリ兩名出勤シ、午前十時頃ヨリ前田善吾、伊藤儀兵衛ノコトニ付畑藪地反別地佃地租取調書依頼相成候、午后一時頃ヨリ永井九郎左衛門及小嶋政次郎、去ル二十年度経費違算ニ付取調候処、全ク五厘五毛過金御渡候得共、違ニテ式円三錢五厘五毛不足ニ決算帳調製被致候、合二十年度経費式円三錢五厘五毛不足相成候也、一月廿五日改候哉、次ニ林田龜治郎事務所呼寄せ、字池ノ尻地押ニ付落地相願候

処、今般一月廿三日地籍編算トノ違ヒニ付証トシテ売買証々事務所迄持参ノコト

二十六日 晴天 午前八時頃ヨリ兩名出勤ス、過來ヨリ地租減額願書鎌田弁藏ヨリ返却相成候、小野五郎右衛門字池ノ尻及南小路四ヶ所脱落地事相談致シ、小野君委細御承知被下テ帰宅ス、午前十一時頃ヨリ小嶋氏休日スル、午后一時頃ヨリ木村辰之介事務所迄罷越し補成講通依頼スルニ付、和田伊兵衛依頼ス、和田氏清水氏ト先壹枚分通三拾枚、半枚分通三拾枚依頼ス、但シ壹通ニ付三錢ツ、相成候、同日野口宗右衛門颯壹疋四錢五厘切符渡スコト、同日午后七時頃ヨリ六人部是慶相続講世話係り小の利右衛門・民秋徳兵衛・植田嘉右衛門・藤田重郎兵衛・永井九郎左衛門・小嶋政次郎・和田伊兵衛・永井治左衛門・清水市右衛門、計九名仕法帳調印ス、酒壺升五合・ハツ四百目ニ、次井上捨吉盜難係り盜難届ケ差出スコト

二十七日 晴天 午前八時頃ヨリ兩名出勤ス、永井太左衛門売買ニ付印鑑証明御願ノコト申出、次会計式円三錢五厘、拾円取入ス、式円五拾錢井月善右衛門二十年十二月年貢売払際手附金ノ違ヒニ付井月善右衛門渡ス、次二井上万吉役場ヒ及教育切符送付ス、次ニ森源之介徒子トよ退学御願書差出ス

午後早々ヨリ藤田吉郎右衛門ヨビ、生嶋信吉分ノ二十年度村費米六升係リ不納ニ付、該吉郎右衛門ニ出金之咄シ致し候也
午後三時頃ニテ小の五郎右衛門ニ依頼仕、脱落地里道理由願書之下書ヲ小じま米次郎ニテ廻シ被下候

廿八日 晴天 午前八時ヨリ小嶋出席シ、清水休日シ、午前九時頃ヨリ戸長役場へ出頭シ、戸長尋問之義は共有物地及共有金無有之事、然ルニ該金員ハ已前年及本年至リテ乍聊協有金ヲ以テ田地買得シ及突井戸多分仕、本年モ該井戸ニ突之事ニシテ共有金は聊モ無之、尤少シ有金は十七八名之申合金有之候、一村共有金ハ無之候ト答置候、且又田地之儀ハ、尤二十年十二月ニ共有物ニシテ取調書差出シ有調簿之如キ候処、戸長ト語合仕候^(読カ)処、多分写替モ有之、該役場調簿ヲ調実費ヲ答シ候処、戸長ヨリ口仲ニは、共有田地之悉皆小作宛米ヲ記載シ差出ス可様ト申被居候

同席ニテ、府會議員永田徳兵衛辭職ニ付、議員一名撰挙二月七日迄ニ致シ該役場へ差出シ有之不都合無之様ニ、尤開投票之日は十名計出席有之様ニ申被居候也

同時役場小の利右衛門ヨリ依頼有之ニは、藤田治郎吉ヨリ向日町渡辺末吉方へ御塔道畑ヲ売却シ、廿年四月ヨリ今日迄之諸係^(符)リ金員之切府ヲ治郎吉ニ渡シ被下、該末吉へ控金ヲ取ニ行コト

同戸長役場朝田多右衛門ヨリ申居候ニは、当村村井儀三郎伯母死亡ニ付除籍ヲ差出スコトト口仲有之、答エルニハ、本月十日頃ニ差出シ候申居候得は、失紛仕候^(マ)タカ無之ニ付、乍手数一度差出シ之程ヲ依頼有之候

藤田治郎吉畑地ニ係リ切府、同日午後三時ニ相渡シ咄シ仕候コト

二十九日 晴天 午前八時頃ヨリ兩名出勤シ、井上勘右衛門運搬橋石何程成哉否ト答^(尋カ)、先五拾錢位答弁ス、次ニ石屋より郵便ニテ直段書差送り相成候也

午后ヨリ巡查老人出頭テ、今村友次郎強盜ニ付段々実事御尋相成候テ惣代答弁ヨリ帰宅ス、次ニ諸払切符渡スコト、次ニ七疋小の勘七代三十壹錢五厘渡ス、同日夜テ村共有物及金穀相談スルコト

三十日 晴天 休日 午后十二時ヨリ字切ノ口突井戸ニ付、長谷川彦兵衛申出候ニ付、早々人足式人差出スコト

三十一日 晴天 午前八時頃ヨリ兩名出勤ス、突井戸式人足今里村土貫請行、井戸屋才藏前金三円渡ス、次ニ村井儀三郎^(籍カ)除届送籍届ケ、一村共有物取調差出スコト、地籍編算ニ付異働^(働)

地取調、京都府庶務課へ郵便ニテ差送りコト、安井与左衛門戸長役場ヒ・教育ヒとも取替ヲ戸長役場送り、木村辰之介私新聞代三拾五錢払、井戸屋ニ付ヤクハントアシバ（足場板）イタとも小嶋政次郎借入候、本日ヨリ向日町楠彦ニテ井戸屋蒲団大六帖借入スルコト

二月一日 雪降風有 午前八時頃ヨリ京都行、石屋代金払其他相談スルコト、午前十一時五十分帰宅ス、午后早々井上勘右衛門石運搬質相談スルコト、先三枚ヲ以テ八十錢位テ承諾ス、永井太左衛門地所売買ニ付登記証々認メテ依頼ス、井戸屋休日スル、午后七時頃ヨリ各組墓所戸数割之相談スルコト小使ヲ以テ支達ス、次ニ府会議員投票スルコト御咄シス、先ツ掃除料先ツ壱石五斗位、中上下ト相立其内ヨリ支弁スルカ、又ハ戸数毎ニ壱升ツ、相定メカ否哉、決義ヲ以テ持寄り哉、来ル四日夜スルコト、午后三時頃藤田治郎吉原件ニ京都行、式人相見

二日 雪降少積 午前ヨリ八時頃ヨリ人足式人ニテ鶏冠井村五十榎新五兵衛迄合割石八ツ取行コト、次ニ寺戸村万喜ニテ合割石十三石買求メ候処人足ニテ取行コト、次永井九郎左衛門之旧十二月廿六日講催スルコトニ払拾錢、永井九郎左衛門より控ルニ付二月二日ニテ渡ス、永井太左衛門売買ニ付登記願書差出ス

コト、和田伊兵衛過日晩肴代十一錢払候也、同日午后一時より金式十六錢一厘會計方預置候金、明治二十年十二月村ヒ不足徴収生嶋信吉分ニ、井戸屋本日休日スルコト、午后ヨリ堀池半右衛門・植田清治郎式人足ニテ寺戸村万喜方之合割石取行コト、同日京都府下より井上勘右衛門車ニテ板石壱枚着候也

二月三日 晴天 午前八時頃ヨリ総代出頭シテ、送籍願差出スコト、突井戸突始メ凡七間計リ抜候、午后四時頃ヨリ藤田治郎吉事務所罷出、社倉金拝借致居候処、差入此之抵当物入替致度候間、乍手数御計リ被下度依頼スルコト

二月四日 雪降少々 午前八時頃ヨリ総代出勤スルコト、民秋徳兵衛・小嶋政次郎、藤田治郎吉社倉抵当差入置入替スルコト、次ニ植田嘉右衛門罷出候コト

四日夜墓所持寄之件は、イ組之口伸は、五合ニテ少シ高直ト申居ル方モ有之候得共、決議は壱升ニテ振鬮之事決ス

口組之義は、法華方四五名計口伸有之ニは、法華墓所東ノ方ニテ南へ引トウシ被下度トノ口伸モ有之、又ハ民秋ハ上中下ト三段ニ相訳ル事ニ相成レハ中等ヲ依頼ス、又ハ上下トニ相訳リ候際は下ノ部ニテ依頼ス、各々決議は振鬮ニテ壱升ニテ決スハ組之義は、外組ト聊カ咄し相違、割方ヲ墓所之道堺ニテ六組

割、其割分ヲ其組ニ掃除スルコト、又ハ戸壹升トハ少シ高直ト相考へ、上中下ト相訳ケる事は一言も不申候、然ルニ多分ノコト

ホ組之義は、壹升トは少シ高直ト申被居レル方モ有之候得共、上中下ハ望之方は無之、振鬮ニテ壹升ト定ルコト決ス

二組は、上中下ト三段ニ相訳ケ名簿書モ相添来リ候得共、決義は多分附ニテノコト決ス

へ組は、少シ内言モ有之候得共、決義は振鬮ニテ壹升ノコト決ス

同日午後一時ヨリ向日町高等(小脱)学校席ニテ農談會議員、林遠里会席え清水市右衛門・湯川伊之介・上田嘉右衛門三名出頭有之、湯川氏ハ同夜墓所持寄ニ付夕方退席有之、上田・清水氏は午後八時三十分ニ退席有之候コト

同朝藤田治郎吉出席シ、森好松氏之地券村方養水ニ抵当ニ差入有之ニ付、該抵当ヲ差替ヲ被成レ被下度ト申来リ候ニ付、其係リ上田嘉右衛門・民秋・小嶋政二郎・永井・清水氏立合之上差替致候コト

二月六日 晴天、午后二時五十分より雨ニ成ル 午前八時頃ヨリ兩名出勤シテ、永井五兵衛竹ヲ依頼スルコト、次ニ井戸屋才藏妻まつニ切ノ口ノ分式円渡スコト、次ニ村内堤坊敷地反別敷

筆とも取調、戸長役場え差出スコト、午后一時頃ヨリ高橋平七橋直シニ付実地見行事、夫ヨリ井戸屋見行、凡九間計リ入候、午后二時四十五分井上寅吉出産報告書差出候コト、午后七時頃ヨリ戸長役場より営業上り高取調、来ル十五日迄ニ戸長役場差出之コト、次ニ墓所敷開事ニ付、夫々御咄シ致シ候処、未タ相分候ニ付翌日廻スコト

二月七日 晴天 午前八時頃ヨリ総代兩名出勤スルコト、次持泉庵除地開ノコトニ付、光山文宗其事示談スルコト、次ニ植田吉郎兵衛妻係リ送籍御願認メ被下度依頼、笹与兵衛相見、午后ヨリ藤田重郎兵衛・小林喜平治・和田伊兵衛・植田九郎兵衛・小嶋政次郎・湯川伊之介・小嶋久兵衛両七名、乙訓郡役所府會議員投票開ニ付出頭スルコト、木村辰之介ヨリ補成講通持參ノコト、次ニ墓所開ハ高橋常吉ニ受取致シ候ニ付、着手日限迄ヲ沙汰ニ及候也

二月八日 天 午前八時頃ヨリ出勤シテ、中小路弥惣兵衛相續件事済ニ付札ニ罷越候、藤田治郎吉地所売買ニ付戸別帳(訂正)訂証被下度、持泉庵除地開ヲ延引致被下度申居候也、吉村筆拾本買求メ、惣代営業上り高取調係ルコト
同日午後上田重左衛門中小車願書ヲ依頼相来リ候コト、次ニ戸

長役場ヨリ当村寺院建坪取調候差出ス、営業係り上り高取調テ九日中ニ差出スコト

二月九日 晴天 午前八時頃ヨリ各営業上り高取調書調印スルコト、午后一時頃ヨリ山口九右衛門入籍届ケ差出、次二戸長（場脱）役共有物純益・係地所宛米取調テ差出ス、切ノ口井戸屋筒入ルニ付検査和田伊兵衛代理依頼ス、井戸間数は左ニ拾四間式尺入

二月九日夜集会仕候、会席出頭御方、民秋・永井・和田・惣代兩人共出席シ、前より相催シ居村講仕法帳ヲ向日町辰之介より持参リ候ニ付、鳥渡相談仕候処、（其）某々之各村へ依頼仕ル人割ヲ致し、是又該通ニ付ケル風呂敷ヲ買求メ数及買物ニ和田ニ依頼シ、不日品整へ候上ハ各々一応集会ヲ仕ルコト

十日 午前七時惣代兩名出勤仕リ、前日営業上り高取調之不出之方夫々相来リ候、小嶋政二郎出頭シ該講之半数分之掛金割方ヲ手伝有之、第九時頃ニ繁次郎出頭シ突井戸現場ヲ相尋ニ来ル、該場所案内仕候

十一日 異風有 午前八時頃ヨリ兩名出勤、字辰巳之口突井戸始メニ付、人足安井与左衛門・和田伊兵衛ニテ丸太式間半壹本

借用シ、井屋切（戸脱カ）ノ口井戸十四間五尺代八円三拾八錢五厘渡スコト、次ニ辰巳之口井屋前金四円渡スコト、次ニ井戸屋ノ借団蒲（マゴ）式帖丈ケ十一日分拾七錢六厘、寺戸村楠彦兵衛蒲団とも渡スコト、次ニ井上勘右衛門橋石三枚取賃九十錢渡ス、次先日井上勘右衛門、森好松方ヨリ杭木壱本借候処、其杭木破損ニ付調整シテ森好松方え返却スルコト
午後七時頃ニ上田九郎兵衛出頭シ、車番号ヲ書記依頼来リ調査候コト

十二日 休暇 同午后十一時頃ヨリ当村字前後川（マゴ）ニテ伏見人民ハマリ置候処ヲ、廻リ巡査見付早速引上テ、当村永井捨吉宅ニテ火ニテアブリテ尋問候処、私者之義、伏見菓子営業仕居候者、本日酒ニテ帰ニテ川ハマリ候間何卒伏見迄送付、永井末吉人力車呼寄セト申サン、早速永井捨吉行候処、末吉は怪我シテ人力引クコト不能ト巡査答言ス、巡査当村惣代ヲ依頼シテ小使ヲ以テ向日町分署迄行コト、分署ヨリ向日町人力車ヲ依頼候へとも人力車行者無之、止得ス遠山巡査当村ノ小使ニ惣代ヲ依頼シテ村人足ヲ伏見迄送付依頼候ニ付、小使治三郎清水宅十二時頃ヨリ起シ、早々清水起テ人足依頼候テ右永井捨吉宅出張シテ、巡査式名・惣代壱名ニテ伏見人民段々説諭候処、一宿丈ケ御願申上候ト答スルニ付、先永井捨吉宅朝迄ヲクコト、割木式

東火ニテ午後二時帰宅ス、伏見人民両替何丁目木村常七ト者也

二月十三日 午前七時小嶋出席シ、朝ヨリ該講風呂敷ヲ小のてい・佐々木なお兩人ニ切トウセ仕候、和田伊兵衛出席仕、代金貳円五拾五錢相渡シ候間、同時前田善吾出頭シ、森好松及森源之介両家之尋常学校猶予願ヲ認メ来り候、午後ヨリ墓所開拓地丈量仕、高橋常次郎之道具ニテ現場ヲ差調候事

十四日 午前七時ヨリ兩名出頭シ、該講風呂敷ヲツ、ミ候コト、就テハ上田清次郎出頭シ、前年ヨリ諸稅切符持来り、聊稅額間違有之様相考候故、取調呉へく様申来り候、猶又小の五郎右衛門出頭シ、該件モ烏渡咄シ仕調方ヲ依頼シ置候コト、同日晩ニテ補成講催スルニ付、世話方打寄通調印スルコトニテ決議ス、世話方下ニ記ス、小嶋政治郎・林田小三郎・湯川伊之介・中小路三之介・民秋岩次郎・小林喜平治・秋田富三郎・永井次左衛門・永井次郎右衛門・中小路弥太郎・小の利右衛門・永井九郎左衛門・藤田吉之介・和田伊兵衛・藤田重郎兵衛・小の与三郎・安井直次郎、惣代式名決議候哉

十五日 晴天 午前七時頃ヨリ補成講夫々依頼行コト、京行、小の利右衛門・民秋徳兵衛・永井九郎左衛門・藤田吉之介、下

海印寺村行、和田伊兵衛・中小路弥惣兵衛・小嶋政治郎・永井次郎右衛門・林田龜次郎、森本村行及かいて村行、小林喜平治・永井次左衛門・藤田重郎兵衛・湯川伊之介・秋田富三郎五名也、次ニ送籍及民有地取調書及里道成功小の利・前田両とも、井上勘右衛門大七車修繕願書調テ戸長役場差出スコト、突井戸筒調整スルニ付竹貫ウコト相成候也、次ニ印紙補成講通帳三拾九錢シ、同晩五時古川村火出ニ付、高張持人足植田右衛門、十六日午前第九時頃ヨリ帰宅ス

十六日 晴天 午前第八時頃ヨリ出勤シ、第九時藤田重郎兵衛方より、かいて村講通巻半返却ニ付事務所迄持參ノコト同十時頃ニ墓所開拓致し場所之カフヲ又ハ大石荒地作ルコトヲ一覽シ、其作工事代金三拾錢ニテ卸スコト約定仕候
十二時ニ安井与左衛門出頭シ、元墓所山林敷ヲ請サシ呉へく様ト申来り候、該人口仲ニは、請人ハ私シ・小の元吉・生嶋信吉ト三名ニテ御座候処、年貢米は凡壹石四斗ツ、ニテ相願度ト申来り候処、答ルニは、保証人慥ナル人ヲ相定メ之上、各々へ咄し可致ト答置候

午後戸長役場へ出頭候処、前年地押願書許可相成り候処、該願書役所ヨリ下資不致候間、因テ其村控書ヲ以テ郡役所へ語合セ^(ママ)ニ出頭致へく様、其上控ヘヲ役場へ廻シ被下候様、台帳へ簿ノ

都合ヨリ近日ニ語合コト、随テ地券書換へ願書ヲ地券相添へ、
是又急々願出シコト

同四時頃ニ該講通・風呂敷共、向日町梶松之介ヨリ林田亀次郎
方へ返却ニ来リ候ニ付、林田子供ヨリ事務所へ持来リ候コト、
同日古川村ヨリ出火礼トシテ三名当村事務所罷越候也、同日夜
雪降ニテ

十七日 雪有テ天晴、凡雪二寸計リ積、午后ヨリ又雪ふり候也
午前第八時頃ヨリ惣代式名出勤候テ、補成講配布書、次ニ鶏冠
井村稻沼久吉郎・片山与介・小寺伊左衛門及五拾^十棲新五兵衛四
名通返却相成、又ハ藤田治郎吉通返却ス、次テ野口宗右衛門講
御断参リ候、藤田重郎兵衛氏は講通かいで村三通参^升テ罷越し、
次湯川伊之介農談会郡役所出頭シ、次ニ中小路弥惣兵衛講通志
冊ヲ以テ周旋致べく候持行、植田清次郎は田租切符違ヒ候ニテ
違ウトノコト申出テ、惣代説諭シテ帰宅ス、次ニ送籍差出シ治
三郎姉しげ、次ニ古川邸出火二人足植田忠右衛門拾五錢出ス、
同日晩補成講世話方依頼廉ヲ打合スニ付集会スルコト、同夜該
講世話方出席ニ相成、色々咄シモ有之候処、決定之義は講日限
ハ二月廿二日相定リ候コト、但シ夜酒式升トするめ二巴、飯食
ス、酒五兵衛ニテ、するめ武兵衛ニテ

十八日 前午八時^マ兩代出席シ、朝早くヨリ小使治三郎は勝林寺
水谷嘉兵衛及下海寺^{印脱}村竹与之両家へ該講ノ切府ヲ以遣シ候、
随ニ上田嘉右衛門及治左衛門は八組四戸計依頼行、其後九時頃
ヨリ永井治左衛門・永井五兵衛・中小路三之介三名は下植野村
本部藤右衛門方へ該品ヲ持テ依頼行候、和田伊兵衛・小の利右
衛門役場へ行掛ケニテ該講ニ入用之紙及帳簿ヲ買求メ行候ニ
付、同日午后十二時頃ヨリ小嶋政治郎・和田伊兵衛・小野利右
衛門・永井五兵衛夫々他所ヨリ通返却ニ付再依頼スルコト、又
同日茶業組合員ヨリ明日十九日南真経寺内於テ茶業組合員撰挙
会開クニ付依頼書持参ノコト、藤田重郎兵衛氏八方え講通式冊
持参ニテ帰宅ス

同日茶業組合ニ付集会之旨各茶業方へ達シ置候也

十九日 午前八時兩名出席シ、及該補成ニ係リ居候各名は小
野・民秋・永井九・永井次左衛門・小嶋政・上田嘉・藤田重・
和田出席被下、午後ヨリ手割ヲ被致候テ、向日町・鶏冠^{升脱}ト志
組行被下、下海印寺村へ小の・和田・永井三名出頭被下候コト
川嶋太兵衛墓所受地ヲ前之咄シ年貢ニテ受地ヲ相願候也ト申来
リ候事、地押係ル異働地々書換ノコト達シ候也、同夕飯は事務
所ニテ各々一飯致シ候、但シ酒は森源右衛門ニ式升取り候、肴
は鳥好ヨリ持来リ候事、其後該鳥好招キ該講之初会膳分ヲ色々

二咄し仕、各々同席ニテ仕出シ承諾可致居候コト

廿日 午前八時ヨリ惣代兩名出勤仕、同時ヨリ始メ、藤田吉之介・永井治三郎・和田伊兵衛・永井九郎左衛門・小林喜平次・安井直次郎・小野利右衛門・湯川伊之介出席被下、該席へ始メ鶏冠井村吉田熊吉母出頭致し、該講通ヲ以テ段々断り申来り候得共、各々ヨリ色々申聞シ候付、壹枚分該人持歸り仕候、綴(続)キテ本田芳五郎又断り来り候間、是又段々咄し之上、何分歎加入スル設ナリ、并ニ向日町朝田庄九郎モ断り来り、是又式拾銭封シ持来り候間、該人は現地少歩ニ付預り置ニテ受取置候コト同日前川橋普請ニ付、工高橋平七始テ取掛り候、人足杉本権之介有之候コト、午后二時頃ヨリ鶏冠井村生嶋五右衛門講通返却相成ルニ付候也

廿一日 晴天 午前第八時頃ヨリ出勤シ、墓所へ見行候事、就テハ前川橋一覽シ、及突井え廻り候テ事務所へ歸り候処、向日町八木市之介及長谷川宇兵衛ヨリ該講件ニ付出頭有之候故、午後ヨリ早々和田・永井・藤田三名依頼シ、猶又向日町へ出頭致し被下候、同前時樋爪(樋)講かまち突井戸(筒)づ、尺寸之義検査候処、づ、長サ拾六間式尺八寸二候コト、同時高橋常治郎墓所開拓掃除代共ヲ金員正々方ニ出頭有之候也

同朝高橋平七ニ前川及小井川・前川辻かへ共三ヶ所ニテ工事受取方ヲ咄し仕、請負承諾候義は人部十一人ニテ相渡シ申候也
同午後野口惣兵衛出頭シ、永井長次郎五女死亡報告ヲ以テ届ケ来り候、夜突井戸成功之砌ニ現場へ夕方二一覽シ行、猶又午後八時頃ニ又一覽シ、祝為テ酒式升五合・じやこ壹升遣シ候也

廿二日 朝八時ヨリ兩名出頭仕、各々講世話方出席被下、皆々辰巳口突井戸一覽被下、講席勝林寺へ出頭被致候、惣代兩名共色々タントシテ後事務所残り、武市才造突井戸勘定被下ト申来り候故、該井戸勘定致し候也

同朝村井孫右衛門出頭シ、実印紛失シ該届ケ書ヲ願ニ来り、警察署へ一通、戸長役場へ改印願ヲ一通認メ持セ遣セ候、就テハ永井長次郎入籍届及除籍届ケ式通認メ差出し候之事、同法花寺盜物仕業ノ御届ケ及野口宗兵衛盜物仕業御届ケ、向日町警察署差出シコト、井戸切ノ口再ツクコト

廿三日 晴天 午前八時頃ヨリ和田伊兵衛・永井九郎左衛門・小嶋久左衛門・民秋徳兵衛兩四名依頼シテ、補成講決算日限定メ及掛ケ金不參ノ方取片付依頼スル、戸長役場ヨリ徴兵志願及村券地下付、該村人民ノ内他ヨリ寄留人民ニ痘種証符取調テ至急当役場差出方相成度達シ有之、馬場村人民式名私村突井戸ス

ルニ付内実相尋ニ参リ、安井直治郎下水谷嘉兵衛飯料貰ヒニ罷越シ、飯料世話方和田伊兵衛・永井九左衛門（郎脱之）両名ヨリ飯料五拾錢相渡ス

次ニ森山儀兵衛（マ）寄呼セ、加藤庄治郎コト御咄ニ致候也、同晩ニ各組長集会スルコト、森山宗五郎・桜井常八飯料及まん（饅頭）十とも三拾錢ニ、明廿四日掛ケ金受取行コト、各組集会諮問、墓地戸別壹升出シ、夜番ノコト、兵ノ志願ノコト、煙草穫取（マ）ノコト協義スルコト

廿四日 晴天 午前八時頃ヨリ小嶋久兵衛氏は長法寺村戸長役場券下付相成ニ付、受取方罷越し、清水氏前川橋普請ニ付実地検査スルコト、煙草穫取調ノコト、前川字福知かマチ橋掛ケ運賃三拾錢井上勘右衛門渡スコト、同席ニテ券状取寄セ、各々煙草乾上葉取調物、午後ヨリ該地押異働地之件ヲ取調願書控へト語合仕、且又補成講諸雜費ヲ仕払致スコト

廿五日 晴天 午前八時頃ヨリ永井太左衛門、村井孫右衛門宛テ掛ル公証取消シ願差出ス、次惣代二名地押願書読合スルコト、午后四時帰宅ス、木ノ山武兵衛地券持参ノコト、及藤田重郎兵衛地券持参ノコト、同日永井五兵衛竹八本貰ウコト

廿六日 雨天ニテ 朝七時兩名出席シ、小の五郎右衛門出頭ニ相成、営業上り高再調ヲ鎌田与造・中小路弥惣平・岸部治三郎呼寄セ色々設語仕候、午後ヨリ補成講世話係り集会仕決算致シ候コト、午后三時頃ヨリ異風ニテ井戸屋ハシゴ（破）扱損、森富之介怪我スルコト

廿七日 晴天 午前第八時頃ヨリ補成講決算ニ付、他所え講加入依頼スニ賃錢ヲ定メルコト、小の利・和田伊・永井九・小嶋久左衛門・藤田重郎兵衛・中小路弥惣兵衛・小の幸太郎集会、決は壹枚分ヲ壹円除ニ封金ニテ遣ス決議ス、夫ヨリ惣代押地（マ）ニ付地券持テ郡役所迄出頭シテ、地券書換願書決ニ合計スルコトニテ、午后二時頃ヨリ帰宅ス、夫ヨリ民秋岩治郎・秋田富三郎・小野利右衛門・小嶋政治郎・永井九郎左衛門依頼スルコト、午後夜係り願書及地券及合計反別読合シテ、午後（前カ）二時十分頃ニ帰宅ス

廿八日 晴天 午前第八時頃迄二各戸毎ニ地押願書調印スルコト、同午後九時ヨリ戸長役場へ出頭シ認メ印ヲ相受、其後郡役所へ出頭シ、午後五時頃各村差遣へ候テ相持居候、其後色々語合午後十時頃退帰リ候、其夜補成講及突井戸係（件カ）々ニ付該講世話係り出頭有之、講ニ係り毎々色々談決スル人々ヲ撰挙スルカ、

又ハ鬪引ニテ該係り役員ヲ定ムルカトノ口設^(説)有之候得共、設決ハ講敷人五名外ニ大地備持式人ニテ胆獲被下様ニ各々より委任仕候、依テ右様ノコトニ決ス、且又該講之他首由無之処ヘ講加入ノ程ヲ心力被下候処、色々聞問違ニテ半数分周^(旋カ)舎方ニ相マカシ被下咄シト申居候処、聊間違ニ付、一札ニ付封金壹円五十錢計ニテ右委任之方ノ周旋人ニ依頼ノコト、尤各委任方ノ外世話係リハ講日及決算ハ各々寄合致スコト

同席ニテ突井戸ノ件々ヲ咄シ有之候処、決極は俸^(マ)ト及機器一式代金五拾円ニテ売却ニ相成候ハ、買求メ仕ト各々議決仕候、就テハ右咄し件は藤田重郎兵衛ニ依頼仕、追々才造ニ咄シヲ申聞シ、該才造より今里能勢五右衛門ヘ掛合候処、該五右衛門長男幾之介不在ニ付談示不整候間、右口伸ニ事務所ヘ才造罷来り候コト

廿九日 午後三時頃ニ該五右衛門長男幾之介京都より帰り掛ケニ、過日大風ニ付^(梯子)バシコタヲフノコトノ風設^(説)ヲ聞キ相尋ニ罷越候ニ付、前日各々談示済之咄し申掛ケ候処、五右衛門長男幾之介答、俸ト機器一式ニテ現金六拾円ニテ売買可致ト答有処、才造口伸ニハ、現金ナラハ四拾五円又ハ三ヶ月半金額猶予被下候ハ、五拾五円ニテ買^(売)却被下ト色々依頼致シ候処、幾之介答ヘルニは、前々ノ手都合モ有之ニヨリ下直ト見ルハ現金五拾貳円五

拾錢ニテ売渡スト申居り候間、段々下直ト認メルニ付才造請急致候ニ付、直藤田重郎兵衛モ右咄同様之急キ付、惣代兩名ニテ難計候故、民秋徳兵衛ニモ鳥渡談示仕候ニ付、右様之事柄ナラハ前金為五円手附ヲ差入置コトニシテ約定書ヲ受取事ニ可致様ト談示ニ相成候也、其夜集会仕、小の・民秋・和田・永井・惣代兩名共出席し、右俸トヲ買取之手綴^(綴)キヲ決定シ、且又地備持一統之内規約ヲ致スコトヲ決定ス

三月一日 午前七時より惣代兩名及永井・民秋・和田・小嶋久左衛門、突井戸ノ場所ヲ字上川原ヘ取極メニ行候コト

藤田重郎兵衛・小じま久兵衛、武市才造ト今里村能勢五右衛門方ヘ殘金ヲ以テ本証書ヲ致シニ行候テ、慥ニ証券ヲ仕候コト、午十二時中飯は事務所ニテ各々一飯致し候コト、午後ヨリ武市才造及長谷川繁次郎兩人出頭シ、速ニ勘定致シ候、但シ破損候機器当村ヨリ仕弁致し、殘金五円三十四錢相渡シ、難波綱壹筋代トシテ金拾円六十四錢九厘計之買取証書ヲ致し、一先武市才造ノ渡シ分勘定は速ニ候也

午後二時頃ニ森九左衛門・富之介突井戸ノ手伝ニ有之候処、大風ノ祭^(際)ニケガヲ致し候故、補成講抛リ金壹円補成ス、伍人頭秋田駒吉、森九左衛門ト受取方出頭有之候コト

二日 雨天ニ候 惣代兩名出勤仕、午前八時頃森好松出頭有之、地券紛失願書書式ヲ前より依頼来リ候処、同日ニ下書ヲ相渡シ候也

(起返カ)
同越替リ追徴納ヲ惣代より取認メ仕候

午後ヨリ前田善吾出頭シ、伊藤捨吉ノ地所売買ニ付登記予テ願書ヲ認メ之儀依頼来リ、随テ買受人宅地裂地之分ハ安井直次郎、野上山廻畑敷共四ヶ所は林田亀次郎買請之登記書ヲ認ルコト

同四時頃ヨリ字上川原突井ノ現地所、和田伊兵衛君ヲ依頼シ該場所ヲ案内可致被下候コト、就テハ惣代兩名才造方へ出頭シ、俸トニ係ル諸機械ヲ改調行候処、才造ハシゴ立ニ付急ケ敷候故、後日ニ調方成シ被下候様ト申居候、ハシゴ棟上及立始メニ付該人エ酒壺升五合及するめ壺巴ト差遣シ候事、同夜地価持一統ノ内規約ヲ認メルニ付、小の君・小嶋政次郎・永井九郎左衛門・民秋・和田・惣代兩名出席シ、示談ノ上認メ候コト

就テハ補成講下海印寺小西与右衛門老枚分加入ノ処、満会前十二会鬮ヲ望ク(除カ)ヲ世話係リ承諾致居候、追シテ十四会迄望キ可被様ト申居(下脱)ヲ清水氏ヨリ咄し候処、甚タ不服ニテ森源右衛門ノ答ニ有之ニ付、右咄シヲ同夜幸ヒ出席各々示談候処、左様事ニ候得ハ元望ミ如ク七分五厘相掛ルコトニシテ二分五厘ハ返却致スコトト各々心意候ニ付、其咄シヲ惣代ヨリ申述へくコト

三日 晴天ニ付 七時ヨリ小じま出席シ、田中佐介出頭シ村井孫右衛門宅ヲ買受候ニ付、戸主名分ハ長男(ママ) 致シニ付宜敷候歟依頼来リ候、朝早々ヨリ森源之介清水氏宅エ出頭シ、該講ノ咄シヲ候処、左様ノ事ニ候ハ、早下海印寺罷越、其上一枚分歟又七分五厘ト故歟否哉尋之上御答へ申上候口仲ノコト

(欄外)
「三日朝ヨリ字上川原突井戸始メ候コト」

四日 日曜 午前八時ヨリ清水氏出勤候テ、前夜集会之処欠席之方有之人々地価持一統規約ニ調印シ、及六人部講地価持ヨリ掛ルコト云々、突井戸俸ト買求メノ云々ヲ藤田治郎吉・小林喜・上田嘉右衛門・永井五兵衛へ咄スルコト

午後ヨリ藤田重郎兵衛出頭シ、突井戸ニ係ル綱繩ヲ先式拾五広計品ヲ武市才造より重郎兵衛申越来リ、新調スルコト、但シ林田六右衛門ニ依頼候コト

三日夜 地価持一統集会仕、該咄し件々は、地価持一統内規約ヲ調整シ各々調印仕候コト、二伸、向日町警察署建築ニ補成スルノ云々示談候処、一統ニ出金額ヲ社倉金ヲ借用仕、該金ヲ以テ五日ニ向日町戸長役場戸長谷川(長脱)二郎兵衛エ小野利右衛門より領取致し被下候、同夜今里村俸トヲ買求メ云々地価一統ニ惣代ヨリ咄し申述候、就テハ六人部是慶講掛金云々モ一統ニ示談シ、他村ノ分割ヲ以テ相掛ルコトヲ該世話方ニ依頼シ、掛金出

候儀は尤社倉金ヲ借用シ該金ニテ相掛ケ可申コト

五日 午前七時ヨリ惣代兩名出勤シ、及永井九郎左衛門・民秋岩次郎兩名出席被下、地押ニ付異働地ヲ調整スルコト、午後七時退席ス

同午前十時頃二和田伊兵衛・林田亀次郎兩名出勤シ、然ルニ社倉金ヲ伊藤捨次郎負債有之処、今般林田氏買求メニ付抵当差替ヲ依頼来リ候、就テハ民秋徳兵衛・小の利右衛門午前十時二出頭被下、右差替件々示談候処、林田氏借用主トシテ抵当モ林田氏ノ地所ヲ書入スルコトト決ス、尤差遣致し候コト、但シ井ノ上捨吉証書公証取消ニ返却ニ付、表書及取消願調印ハ小じま久兵衛ノ印致し候也

同時永井五兵衛出頭有之、村井孫右衛門宅地売買ニ付地券書換ヘヲ願ニ来リ、認メ及委任状共認メ相渡し候也

同午後七時頃ニ秋田駒吉へ養水講鍵ヲ持セ遣シ候也

六日 晴天 早朝七時ヨリ惣代兩名出席シ、早々ヨリ田中佐介出頭シ、村井孫右衛門地所建物買求候ニ付何敷宜敷相頼ト申来リ候間、然ルニ惣代口伸スルニハ、先以テ村井孫右衛門家族住宅スルヲ其許よりセキタテ可被成候様歟、宜敷相住宅相定リ候上は田中徳次郎ノ印鑑届ケ仕、其上売買登記致し及戸主届ケス

ルコトト申置候コト

同午前十時頃伊勢朝熊楽屋来リ、該人口伸スルニハ、戸長ノ奥書以テ来リ、当村小使相借シ申被下ト段々申居候得共、色々事故申立小使相附ス候、二伸居候ニ付、其村惣代様之名簿印ヲ相成シ被下ト是又段々依頼致し候得、是又御断申述候コト

同午前十一時頃安藤久吉ヨリ陸軍係ル書面受書ヲ一通頼ニ来リ、一通認メ候コト

同藤田吉郎右衛門長男房次郎出頭シ、登記ニ係ル印鑑証明ヲ頼ニ来リ、但シハ社倉金返却ニ付、小じま久兵衛表書シ候故、小じまノ印鑑証明スルコト

午後ヨリ永井太左衛門出頭シ、村井孫右衛門宅地ヲ永井五兵衛買求メニ付、地券書換ヘヲ一通認メヲ依頼来リ候コト

同上田三右衛門飲食店廃業シ随テ (ママ) 外鑑札ノ云々ヲ相尋ニ来リ候故、是又戸長役場ニテ相尋、其上口伸可致し申述置候コト
同日永井九郎左衛門・惣代兩名共地押異働地調簿訂正ニ係リ候コト

七日 晴天ニテ 清水休、小じま出勤シ、午前八時頃ニ伊藤捨次郎宅地売買ノ登記ニ付、裂地図面式通・書面式通相認メ渡シ候コト

同朝小の利右衛門様出席有之、南小路里道附替願濟之処ヲ今般

登記証明無代価ニテ下附願ヲ口伸被下候、就テ前田郁太郎南小路里道分及築山半兵衛里道ニ係ル分ト相認メ候テ該人え相渡し候コト、且又スキマニ台帳へ異働地ヲ訂正致居コト

八日 晴天ニ付 午前八時惣代兩名出勤ス、及永井九郎左衛門出席被下、皆々異働地諸帳簿え訂正スルコト、小コヲテ式丁清水氏上京^(慶)祭買求被下候、尤代価五錢ニテ候、支払ス午後五時ヨリ馬立突井戸ノ竹ツ、入ルニ付、三名共該場所へ出頭ス、同夜七時頃ニ突井戸水ガ多分出ルニ付、才造より使イ来リ候故、早々該場所へ出頭シ、兩名共一覽致し候上、酒式升・看ぶり式十五錢買渡シ進上致し候

九日 雨天 惣代兩名出席シ、及永井九郎左衛門出席被下、早朝ニ小野利右衛門出席有之、有志ノ件々ニ付、法道寺檀中方より有志依頼来リ候ニ付、右件ヲ同席ニテ示談仕候處、尤表向キハ相断申筈ニ決ス、同時ニ民秋徳兵衛出席有之、木ノ山武兵衛借用証書ニ証印シ、就テハ金子ヲ持帰りニ相成候事、随テ該金子ハ林田亀次郎へ預ケ分ニテ貸アタへ候コト

午前ヨリ和田氏出席シ口伸ニは、当事務所表先へ土ヲ置居候處、該場所料ヲ何程成ル哉上納可致ニ依テ、各組長様へ示談成シ被下度候様ト依頼有之候、同時村会ノ評定書ヲ戸長^(マ)處、小

の五郎右衛門持參廻シ被下、各々議員之調印可致候コト
尤同日ハ三名共諸帳簿ノ地価廻リ収獲ヲタスコト

十日 晴天 午前八時ヨリ惣代兩名出席シ、及永井九郎左衛門出席被下、朝始メ字馬立突井戸ヲ一覽致し行、同時井ノ上次郎兵衛より丸太杭ヲ持来リ、其後ヨリ名寄セ帳簿計算仕居候、午後一時ヨリ民秋・和田・永井・惣代共、該突井戸現場へ出行致し、該水ヲ一覽仕候上、該井戸代ヲ武市才造より何分成ル哉一覽之上依頼申上度ト答有之ニ付、右各々より口伸有之ニは、先前約定之外ニ金三円差遣シ有之様ト決極ニ有之處、午後三時頃武市才造出席有之候祭ニ、右様之咄しヲ口伸致し候處、押テ各々御掛り御方へ訳テ一応増金之義ヲ依頼被下度ト申答居候也、同時前田善吾出席シ、南小路道附替私控へ調整ニ来リ、尤指令書ヲ築山半兵衛分共ニ預リ置候也
同日惣代・永井午後六時頃迄名寄セ帳簿合算ヲ訂正仕候
同夜該突井戸ニ付、永井・和田・民秋・小野・小嶋政・惣代兩名共集会致し候コト

十一日 日曜 休業 午前第八時頃ヨリ惣代出勤シテ、武市才藏及長谷川繁次郎兩名面前ニテ字馬立突井代、十四間八寸此代八円也所之五円祝義遣ス、次ニ六人部講支符配達ス、痘種来十

二日午前九時迄戸長役場種痘^(注)様住意スルコト、休暇スルコト

十二日 天気 午前七時頃ヨリ字前川突井戸突始メスルコト、客年抵働年期明候条素地据置願意差出候処、今二何等ト御指令無之ニ付、本日伺書差出スコト、次ニ植田嘉右衛門土蔵窓^(破)披リタルニ付著差シ、次ニ他村田租第三期ニ付、切符配達ス

同午後前田善吾出頭シ、伊藤捨次郎土蔵ニ物置共二ヶ所取壊チ之届ケヲ依頼来リ、家件一覽之上、該人ヨリ認め持歸リコト、午後六時迄永井氏・小じま名寄帳簿計算仕候、同午十二時武市才造来リ、前日該人上京致し候祭ニ突井戸ニ係ル諸機械小道具買求持歸リ有之、代金該人ニ相渡シ、就テハ割繩綱ヲ持歸リ有之処、明十三日直段之云々仕行コト、該日痘種ニ付、前名簿之内五名、色々理由人ニテ戸長役場へ申遣シコト

十三日 兩名共上京ス、午後五時頃ヨリ郡役所岡本庄三郎及戸長役場小の利右衛門兩名、営業上リ高調出頭有之、同七時ニ上京ヨリ帰り早々惣代兩名共出頭致、各営業之者十名計帳簿持參被致、色々取調被致候コト、午後十一時ニ退席ス、就テハ上田林右衛門該帳簿記載方甚タ不都合ニ付、為後ノ答書ヲ一通差出し有之候、同^(ママ)

十四日 午前七時ヨリ惣代兩名出席シ、早々ヨリ井月善右衛門書証取消願ヲ認め遣し候、就テ過日山林荒地据置願之伺書ヲ一通差出し候処、同七時又一通認め差出し候、其後突井戸現場ヲ一覽致行候テ、早歸リ候上、地方税各戸ノ合計致スコト

同日午前早々郵便端書^(タ)タハリ人ヨリ上植野浅五郎ト中人ヲ相尋来り候得は、右名前之者無之ニ付、一先返却ノ張書ヲ附ルコト、次ニ井ノ上村杭木断小使遣スコト、次ニ地方税切府及異動地切府共共、当村及他所共持セ遣シ候、且又十五日村中休日ノ事及夜廻リノコト各組伍長へ申遣し候、夕方ニ安井与左衛門出頭シ、突井戸ニ係ル三ツタリ繩三筋代及上京賃共代働ニ付、繁次郎共々出頭シ候処、繩一筋代十錢ト相定メ、手間五錢渡スコトニ定メ候事

十五日 村中休日 朝七時ヨリ惣代兩名及永井氏出席シ、本務八名寄セ水帳ヲ計算シ、同日地方税取纏メニ付小野利右衛門出席ニテ取纏メ被仕、同九時頃民秋・湯川出頭シ、村社倉金ヲ借用云々之咄シ被致候、就テ相続件ニ譲リ渡シ兩件之券状式通預リ置候、同時安井与左衛門妻出頭シ、実印改印届ケ書ヲ差出し、就テハ該人ニ突井戸ニ係ル色々繩代手間賃共ニテ金三十七錢五厘渡シ候、且又午後ヨリ井上捨吉中小車新調相求メ願書認め差出し候コト、次ニ戸長役場ヨリ国民軍及適齡者名前之者、

明十六日午前第九時出頭可致様達シ相成候、小使ヲ以テ夫々支達ス、同日晩六人部講話方明日講会都合打合スコト、一会スル事、其決凡夫々ノ掛ケ金ヲ徴収者法方は、先千円以上ニテ高地価持七名除外は壹戸ニ付壹円ト定メ、二十八円ヨリ残り十四円は該地価持式円ツ、宛七名徴収スルコト、都合四拾式円ト相成候、枚数は十四枚也、右取極メニテ退散スルコト、午后十二時帰宅コト、集会人名は左ニ記ス

小じま政次郎・永井九郎左衛門・清水市右衛門・民秋徳兵衛・同次左衛門・小じま久兵衛・小の利右衛門・植田嘉右衛門、以上八名集決ス

十六日 晴天 午前第九時頃ヨリ六人部宅迄当村世話方九名出頭スルコト、第十二時外十九名出席ノコト

十七日 雨天ニ候 早朝ヨリ惣代兩名出勤シ、該日地方税及公儲金取纏メニ付小野五郎右衛門出席ニ有之、清水取認メヲ手伝仕居候、午前二井ノ次様ヨリ式間丸太十五本持セ遣リ有之、該人へ式間丸太十式本持セ帰ラセ候、就テ湯川岩次郎田地ヲ湯川伊之介へ譲リ渡し証書ヲ認メ、且又村内社倉金借用ノ証書及登記ノ書願ヲ認メ居候コト

十八日 晴天 字南ノ口橋下ヨリ出、凡式百貫目除有石入札、村内え洩ナク触テ入札ス、午前第八時頃ヨリ休日ト雖モ戸毎帳惣決、永井九郎左衛門・清水市兩名取係ルコト、次井戸屋社日二付、鏡餅二重・御酒二升・肴代三十錢差遣スシ休日ス、次二野畑伊之介商業鑑札返上書認メテ、又次二民秋徳兵衛、湯川伊之介・湯川岩次郎係リ証々夫々連印方え調印スルコトニ依頼参り候、帰宅ス、又次二明日十九日種痘名員第九時迄当役場へ出頭ノコト通知スルコト

十九日 同午後食乞人事務所へ呼寄セ、色々設諭致し候テ聊モ菓子遣し、鶏冠井村迄小使ニ送リラセス
同日名寄帳計算仕、午後六時ニ惣決仕候

二十日 晴天 午前第八時頃ヨリ荒地期明濟ニ付図帳及土地戸別ニ訂正シテ書載ス、永井九郎左衛門・清水市右衛門其事ニ係ル、次ニ高張燈灯・小丸燈灯張替金三十五錢ニテ仕払ス、午后六時頃ヨリ帰宅ス

二十一日 午前早々ヨリ兩名出勤シ、清水氏帳簿訂正シ、小嶋氏村方社倉金係ルニ付登記ニ出頭シ、午後ヨリ永井氏出席有之、三名共諸帳簿訂正仕候、同十一時二民秋徳兵衛出頭シ、補

成金之係り金員該人え預ケ置候分ヲ後日入用之祭(幣)ニは取出シ行
事ヲ該人承諾被致居候コト、就テは該講之掛ケ金之事ヲ相咄し
致し候処、一度下与ノ者ニ咄し致し候テ後答可仕候ト申被居
候、該咄しハ加入一枚之処ヲ鬮フンハナシナウハ七分五厘ノコ
ト、又十二会迄望クニ付テハ、証書ハ不致候得共、各々世話方
ニテ望クノ承知被致居ニ付、右咄しヲ致し置候也

次二同日晩各組長集会シテ、字南ノ口橋下有之大石出来シ其石
入札ノコト、其石林田亀次郎代金弍円六拾五錢ニテ落札相成
候、郷藏有之コモハ昨年十一月頃ヨリ兵歩行軍之際字小畑川辺
敷引候コモニテ、同日晩ニ入札候処、代金六錢ニテ藤田吉郎右
衛門ニ落札ノコト、終リテ帰宅ス

二十二日 晴天 午前第八時頃ヨリ総代兩名出頭シテ、字下川
原橋普請ニ付地検分、其橋石タラシニ付同村民秋徳兵衛方依頼
シ、石数凡五六拾程ヲ以テ代金壹円五錢ト駄賃拾五錢ト買求ル
コト、帰事務所テ戸別帳読合スルコト、午后一時頃ヨリ字切ノ
口井戸水引溝筋堀コト中小路熊五郎依頼ニテ实地見行テ、熊五
郎ニ壹人前拾弍錢ニテ先五人代ニテ受取サスコト決テシ、直其
上総代兩名とも帰後ニテ戸別帳読合スルコト

二十三日 晴天長閑 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出頭シテ、戸

別帳読合スルコト、午前第九時頃ニテ民秋岩治郎父民秋徳兵衛
事務所罷越シ、過日来依頼置候湯川岩治郎不負積(マカ)ニ付当村社倉
ノ金ノ内借用候処、只今途中ニテ先当村新設有之補成講金ノ内
借用仕候ニテ、林田亀次郎ヨリ預置候金六拾八円五拾錢ノ内三
拾円は木ノ山武兵衛借シ、残り三拾八円五十錢ト、小の利右衛
門え預置候ノ金五拾壹円五拾錢ノ処内四拾弍円は本月十六日六
人部講掛金借り、残金九円五拾錢ト、又本月廿一日晩字南ノ口
大石入札候処林田亀治郎落札ニ付、右代金弍円六拾五錢ノ処壹
円五十錢丈ケ湯川岩治郎借シ分ニ取敢ス廻スシ、都合四十九円
五十錢調整シ民秋徳兵衛方ニ相渡シテ、民秋徳兵衛氏は右之金
額ヲ以テ午前第十時頃ニ帰宅スルコト

廿四日 晴天ニ曰 早朝ヨリ惣代例時ニ出勤仕、過日森あいノ
方ニテ草木金拾五錢ノ価格ヲ以秋田嘉平次ニ買取ノ云々樹木、
随テ事務所境内ノ草木切取其内ノ樹木生作ニテ、同村伊藤伊兵
衛ノ養男音次郎氏計作又ハ該木植付ニ付出頭有之、且又惣代兩
者示談ノ上、該森あいノ方ニ生木有之桜三本、右秋田嘉兵衛氏
ヲ以テ代価壹本ニ付八錢計リトシテ依頼乞、森あい承諾ノ上、
右伊藤音次郎ニ植付致シ被下候事、次ニ森あい方ニ有之桜木壹
本、午后一時頃ヨリ買求メテ事務所樹木植置事

同午九時ヨリ兩者事務は、鉄道左右ノ電信杭控杭敷地料代価、

前日抛り小野利右衛門君戸長役場ヨリ帰リ掛ケニ持帰り被下、該金員ヲ各々敷地ノ方へ賦課仕候ニ就テハ、受取証ヲ府知事宛及戸長役場并ニ惣代手元控共都合三通書面相認メ、該書面ニ賦課ノ各々ノ調印取ル事ヲ務ム、次ニ颯式疋小嶋政治郎渡ス、次ニ村持電信柱敷地代式拾七錢永井次郎右衛門預ケ置候也、右夕方ニ戸長役場へ小使回送三通持参リ候コト

廿五日 日曜 雨天ニテ 午十二時迄兩名休、午後ヨリ兩名出勤仕候テ、各々大工業及石工職・木工職方え向日町分署建築ニ付望ミノ者は該署え入札ノ云々出頭被致様ト小使ニ申遣シ候、就テ素地据置字釜ケ桂山林荒敷指令ニ相成候旨、戸長役場ヨリ回送ニ相成、該地券書換へ願書認メ各印ヲ取ルコト、猶又地券料米一通ニ三錢持参致スコト、且又十九年度協議費支出収入取調書ヲ認メ候テ明六日ニ役場へ差出スノ手債^積リ致し置候也

廿六日 異風強有テ天気 午前第八時頃ヨリ、昨十九年字釜桂荒地年期明ニ付素地儘ニテ地券書換願書戸長役場差出シ、及去十九年度村費申合費明細取調テ差出スコト、詳細書差出シ及電信敷地手当金受取書式通、次ニ小嶋久左衛門地券書替手数料金三錢持参ニテ出頭有之、次ニ武市才藏字前川前金式円依頼ニ付渡ス、次ニ寺戸村長谷川喜兵衛当村伊藤儀兵衛先般買求ノウコ

き壹株ニ付十六錢ニテ買求メ候コト、尚午后一時頃ヨリ小嶋久兵衛氏は右記載ノ通地券書換願書式通又ハ電信金式通、十九年申合費取調書壹通持参ニテ戸長役場え差出シ方ニ出頭候コト、次ニ午后一時頃ヨリ野口四郎兵衛代理人足野畑伊之介、字後藤橋普請成功ニ付跡片付方人足出ルコト

二十七日 晴天 午前第八時頃ヨリ小じま氏休日、清水市右衛門出勤シテ、小林末吉妹受籍差出スコト、次小の利右衛門・清水両名小の利右衛門前実地決シ行、道路付換ニ付地券書換願書三通認メ、前田郁太郎・築山半兵衛とも無代価地位上伸図面添えテ三通差出様調セシ、次ニ嶋田作介・安井権右衛門相続譲リ願罷在、午后一時頃ヨリ築山半兵衛地券ト金三錢、前田・築山両名持参ノコト、又次ニ村井孫右衛門家族とも四名、大阪府下東成郡野田村井豊吉方移転ニ付送籍願書差出スコト、次ニ野口宗右衛門・上田嘉右衛門兩名颯式疋ツ、持参ノコト、午四時頃ヨリ字前川井戸筒竹依頼罷越し、小林亀治郎數凡五本貫、小林東吉方へ壹俵貫、數間十二尺式尺一寸計再度入換スルコト決ス、午后六時三十分退宅ノコト

廿八日 雨天 午前第八時頃ヨリ清水出勤シテ、田中佐介家名相続譲リ願書認メテ置候処、小の利右衛門昨日認メ置候処ノ願

書ハ築山・前田・小の兩名共道路付替ニ付無代価図面正副式通都合六通乃至地券換願書四通とも持参シ、尚安井権右衛門亡安井岩吉家名相続人願書及印鑑届ケト式通、小の利右衛門持参シテ当部内より戸長役場へ出勤ス、次ニ森山宗兵衛鉄道局線路兩側有之雜草蒨取鑑札返上書式通認メ、鉄道局へ差出シ候、次ニ和田伊兵衛・民秋徳兵衛兩名出頭シ、過般来永井九郎左衛門六人部相続講ニ付他所へ依頼云々、其際経費控へ分有無ノ云々民秋氏より申越し相成候、早々永井九郎左衛門尋ニ推参ニシ申候処、永井氏手元控へ分更ニ無之云々ニテ帰宅候コト、終テ十二時退散ス、同日午后一時頃ヨリ永井九郎左衛門色々咄シ、午后六時頃ヨリ帰宅ス

廿九日 晴天 午前第八時頃ヨリ惣代兩名出勤シ、字前川突井戸再々突直シニ付、晒五尺八木宇の方買求テ、次ニ過來ヨリ十八日社日祭井戸鏡餅献代価十三錢小の元吉方、次桜木壱本代価七錢払森あいニ買候也、午后一時頃ヨリ認許証三葉署分^(マ)え差シ送ルコト

卅日 雲天 午前第八時頃ヨリ惣代出勤シテ、小使治三郎石作村外六ヶ村戸長役場へ佐藤喜左衛門死亡認証送ルコト、名寄帳異動地計訂正シテ、午后一時頃ヨリ戸長役場ヨリ小使ヲ以テ、

過日差出シ置候ノ地位上伸願書訂正スルニ付、当村事務所有之美濃界紙、此小使ノ者ニ為持被帰様廻送シ、界紙持参ニテ帰役ス、午后一時頃ヨリ高橋平七手伝日数三十六人代八円二十八錢渡ス

同五時頃小野利右衛門出席有之、南小路新理^(里)道附替願候後、無代価ニテ旧道払ヒ下ケ願意控へヲ訂正被下候テ事務所へ持来リ被下候コト

三十一日 午前七時ヨリ兩名出席シ、早朝ヨリ永井太左衛門出頭有之、村井孫右衛門より宅地ハ組永井五兵衛へ買求メ、該人ヨリ同村田中佐介へ売渡スニ付、登記願書ヲ認メヲ依頼来リ候コト、同時井ノ上次下男丸太惣勘定ニ来リ候ニ付、是迄ノ分速ニ勘定仕候コト

午後四時頃森清七出頭シ、突井戸ニ係ル井筒ノ手間前借トシテ金壹円借用ノ依頼ニ来リ、切府ヲ小使ニ持七遣シ、右金相渡シ候コト

(第二〇期第九研究会による成果)

